

ワーク・ダイバーシティと就労支援の現状 生活困窮者自立支援制度のインパクトと課題

- I 生活困窮者自立支援制度と就労支援
- II 就労支援の機能強化
- III 中間的就労に注目する態様別支援の取組み

I 生活困窮者自立支援制度と就労支援

【自己紹介風に】

- ①自治体をベースにした新たな就労支援との出会い(2006年)
大阪府地域就労支援事業 + 無料職業紹介の活用
雇用システムに依存した支援の限界 求人のアレンジ、就業環境の整備を含む定着支援などが難しい
無料職業紹介の活用による企業との関係づくりへ
- ②個別相談支援 + 雇用・就労のしくみの改革(分野別支援の総合化、企業支援の試み)
就労支援として叫ばれた「積極的労働市場政策」への違和感・疑問
就労支援は相談者(当事者)支援では完結しない。態様別支援共通の課題＝{出口の不足}
分野別(態様別)就労支援の総合化(障害、高齢、ひとり親、助成、若者(ひきこもり、中退等・・・))
自治体独自の「雇用・就労推進プラン」作成、地域雇用創造推進事業(厚労省)の実施
- ③緊急雇用事業の活用 + 就労支援と無料職業紹介の組合せ
企業の人材ニーズへの対応と就業現場での就労支援の結合(就労訓練事業の先取り)
「企業との連携＝多様な人材への対応力に注目」 個別支援＋資源づくり
- ④パーソナル・サポート・モデル事業(個別相談支援の拡充～多様な支援策への挑戦)
自治体直営ではなく、中間支援組織による多様な支援の試み(支援団体や企業等との連携)
- ⑤生活困窮者自立支援制度の挑戦(全世代型・包括的相談支援、全国の自治体に就労支援の拠点ができる)

新たな生活困窮者自立支援制度

包括的な相談支援

◆自立相談支援事業

〈対個人〉

- ・訪問支援等(アウトリーチ)も含め、生活保護に至る前の段階から早期に支援
- ・生活と就労に関する支援員を配置し、ワンストップ型の相談窓口により、情報とサービスの拠点として機能
- ・一人ひとりの状況に応じ自立に向けた支援計画(自立支援計画)を作成

〈対地域〉

- ・地域ネットワークの強化・社会資源の開発など地域づくりも担う

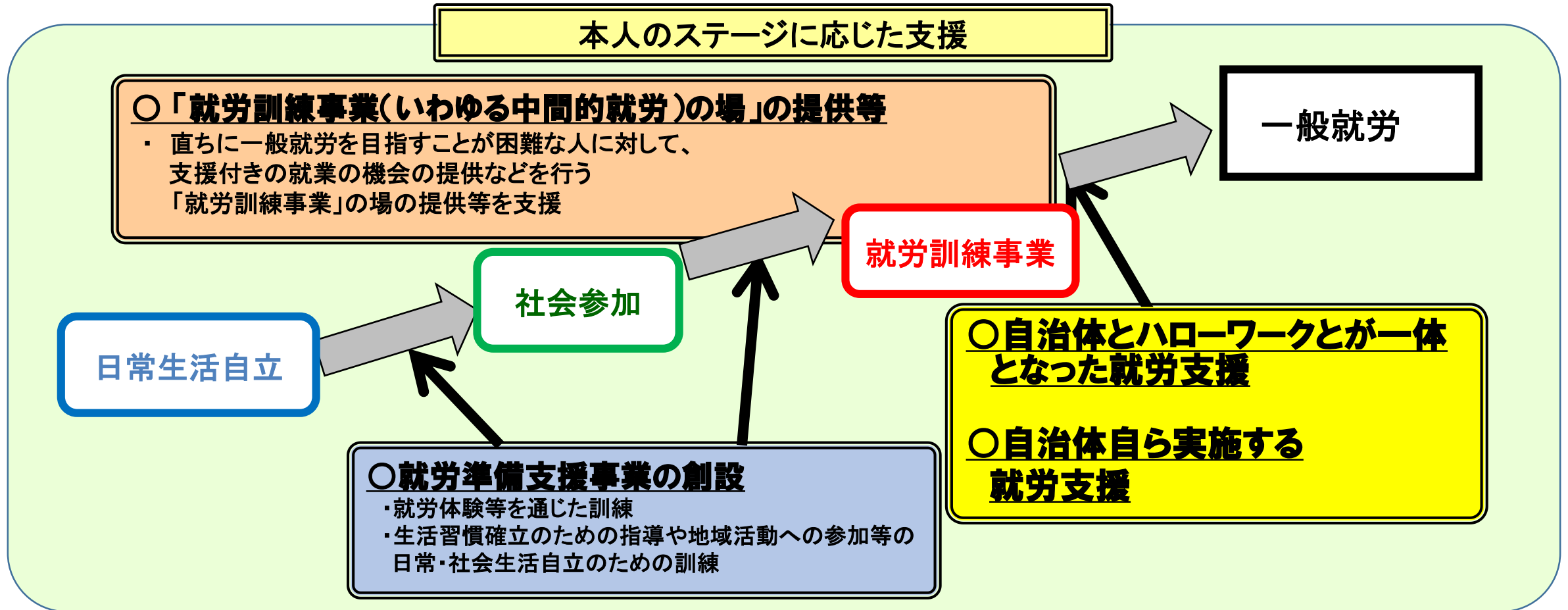
基本は、自立に向けた人的支援を包括的に提供

※ 右記は、法に規定する支援(◆)を中心に記載しているが、これ以外に様々な支援(◇)があることに留意



就労に向けた支援の充実・強化

◎ 就労準備支援事業の創設、就労訓練事業の場の提供の推進等により、本人のステージに応じたきめ細かな支援策を実施する。



法により、これまで支援が十分されてこなかった層への就労支援が充実する。各種就労支援は、生活困窮者の多くが自尊心や自己有用感を喪失し、次のステップに向かうことができなくなっている状況にあることを踏まえ、その回復・醸成を図りながら行う。

1 「就労支援の拠点」の現状

～就労準備支援や就労訓練等の利用が進まない～

	新規 相談	プラン 作成	就労 支援 対象	住居 確保	一時 生活	家計 相談	就労準備	就労 訓練	自立 就労	生活 資金	生保就 労自立	就労者 数
H27	226,411	55,570	28,207	7,803	16,460	5,178	1,833	161	22,430	5,855	9,066	21,465
/10万人	14.7	3.6	1.8									
目安値	20/月	10	6									
H28	222,426	66,892	31,970	6,805	17,339	7,664	2,847	354	27,145	5,275	13,688	25,588
/10万人	14.9	4.6	2.1									※17,836
目安値	22/月	11	7									
H29	229,685	71,293	31,912	5,539	17,155	9,466	3,146	389	28,173	4,454	14,745	25,332
/10万人	14.9	4.6	2.1									※17,958
目安値	24/月	12	7									
H30	237,665	77,265	33,969	5,283	16,641	11,722	4,082	488	31,162	4,225	16,466	25,001
/10万人	15.5	5.0	2.2									※16,333
目安値	26/月	13/月	8/月									

※就労支援対象プラン作成者分

2 支援対象をめぐる混乱

求職者か？ 求職準備者か？

※就労の相談支援において、①聞取る・理解する、を経て、②就労支援の対象者像、悩み・課題を整理し、③適した支援メニュー(処方)を調整・提示する、そして④支援を実施・見守る、というプロセスになります。

【生活困窮者自立支援をめぐる主議論されたこと】

図1 所得分布の変化

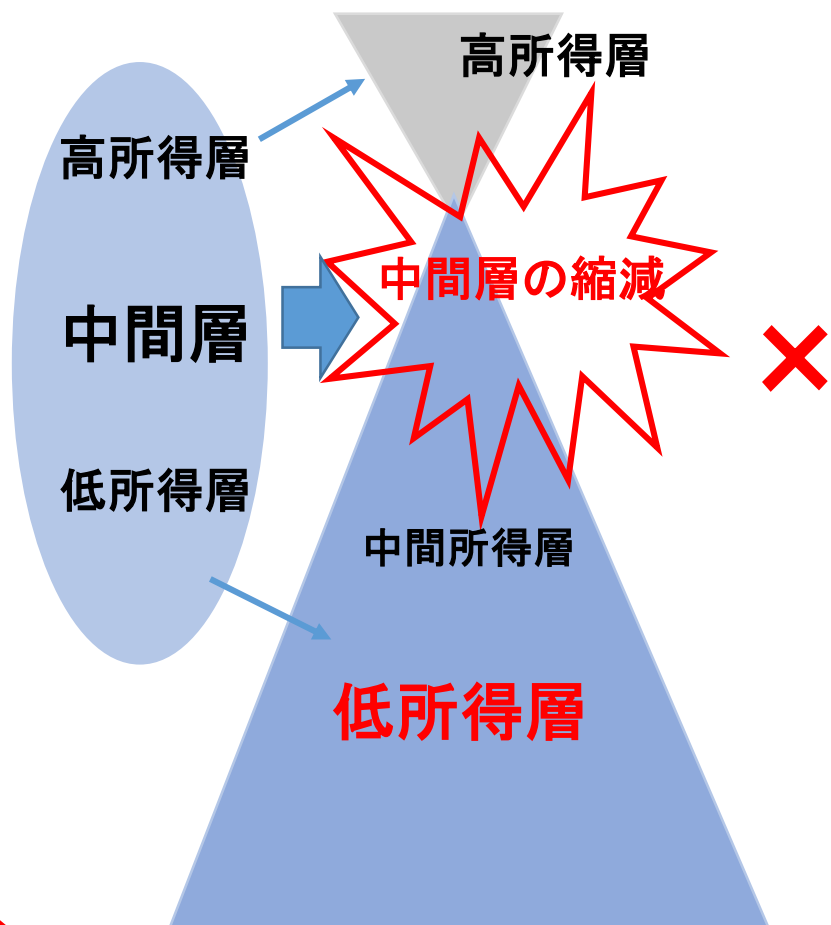
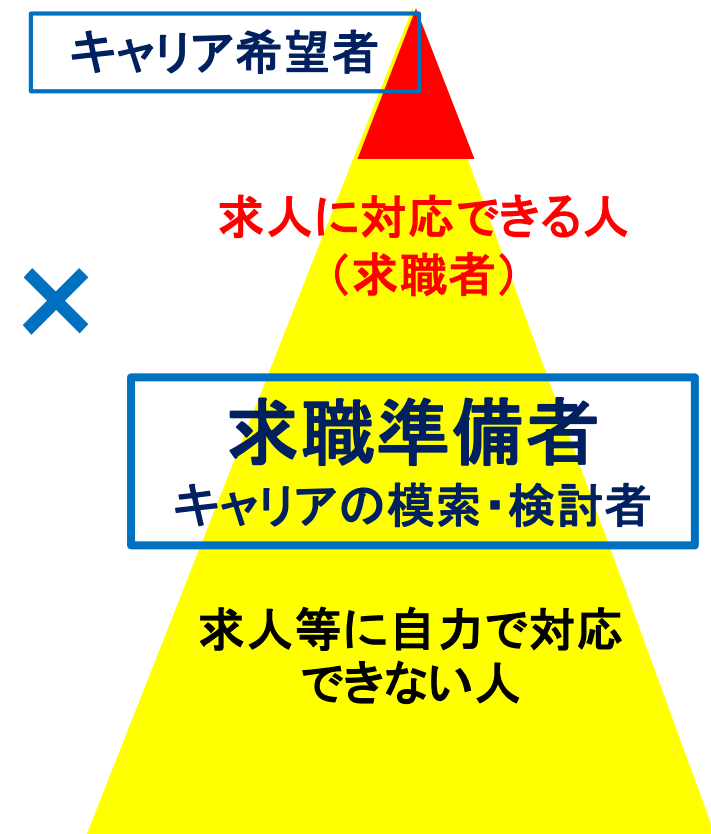


図2 多様・多重化する困難

- 心身の不調
- 知識や技能の習得機会の欠如
- 家族の問題
- 家計の破たん
- 「判断能力の不十分」による生活困難
- 就労困難・就労継続不安
- 将来展望の喪失など
- 福祉医療保健・教育等の公的サービス利用の拡大＝給付等の拡大

図3 キャリアの「模索・検討者」(求職準備者)の課題？対応した支援は…？



3 就労支援の利用が期待される求職準備者 ～「就労の状況」による困窮者～

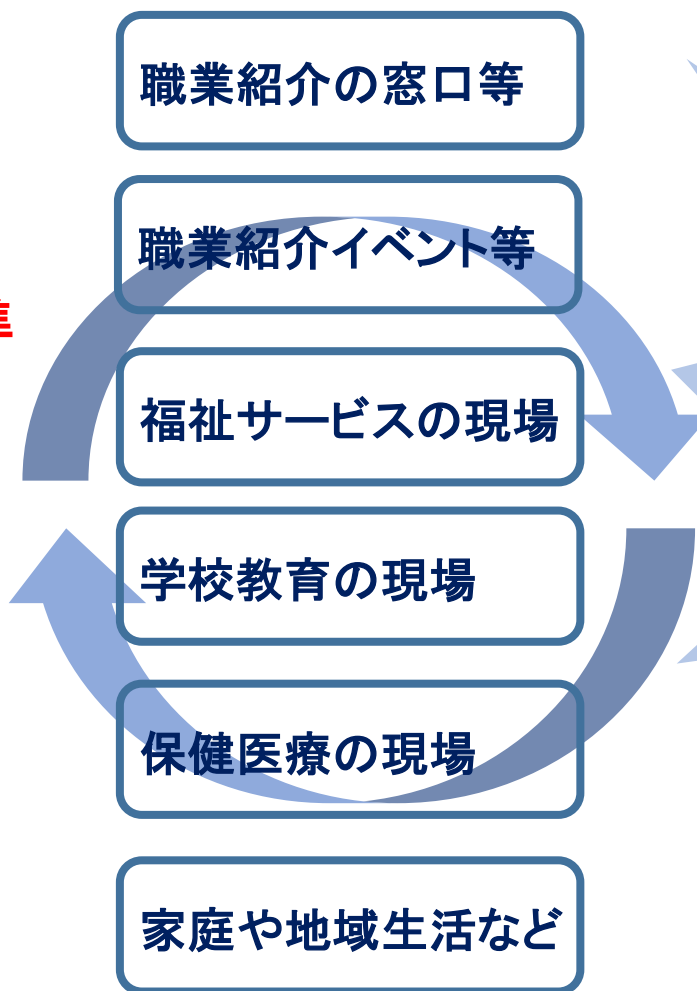
従来の職業相談や就職活動支援では対応が難しい求職者・・・が拡大

●新卒採用市場の求職者

●中途・転職市場の求職者

●失業・無業中の求職者や求職準備者

仕事に就きたい
適職を見つけたい
職業経験がない・少ないが・・・
離職期間が長くなったが・・・
キャリアアップしたい
非正規から脱却したい
セカンドキャリアを見つけたい
・・・・・・・・



早期離職
ワーキング・プア
ミッシング・ワーカー
ニート・ひきこもり、
スネップ（孤立無業）
メンタルヘルス要支援者
低所得層・・・の拡大
生活保護の高止まり
（捕捉率は低い）

4 包括的な相談支援が進む一方で、遅れる就労支援

【制度の特徴】 包括的・継続的相談支援

- ①既存サービスをつなぐ
- ②必要なサービスをつくる（★印事業の登場）
- ③支援付き就労（中間的就労）の制度化

★家計改善支援事業
収入・所得

雇用保険
生活保護
年金、貸付 ほか

★一時生活支援事業
住居

公営住宅
住宅セーフティネット
生活保護 ほか

健康

保健医療、福祉、
社会保険 ほか

家族等

★学習生活支援等
（貧困の連鎖防止）
児童福祉や地域福祉、
生活保護 ほか

生活機能

障害福祉など年代別
対象別福祉サービス
や精神保健、リハビ
リ、介護サービス
ほか

孤立・孤独等

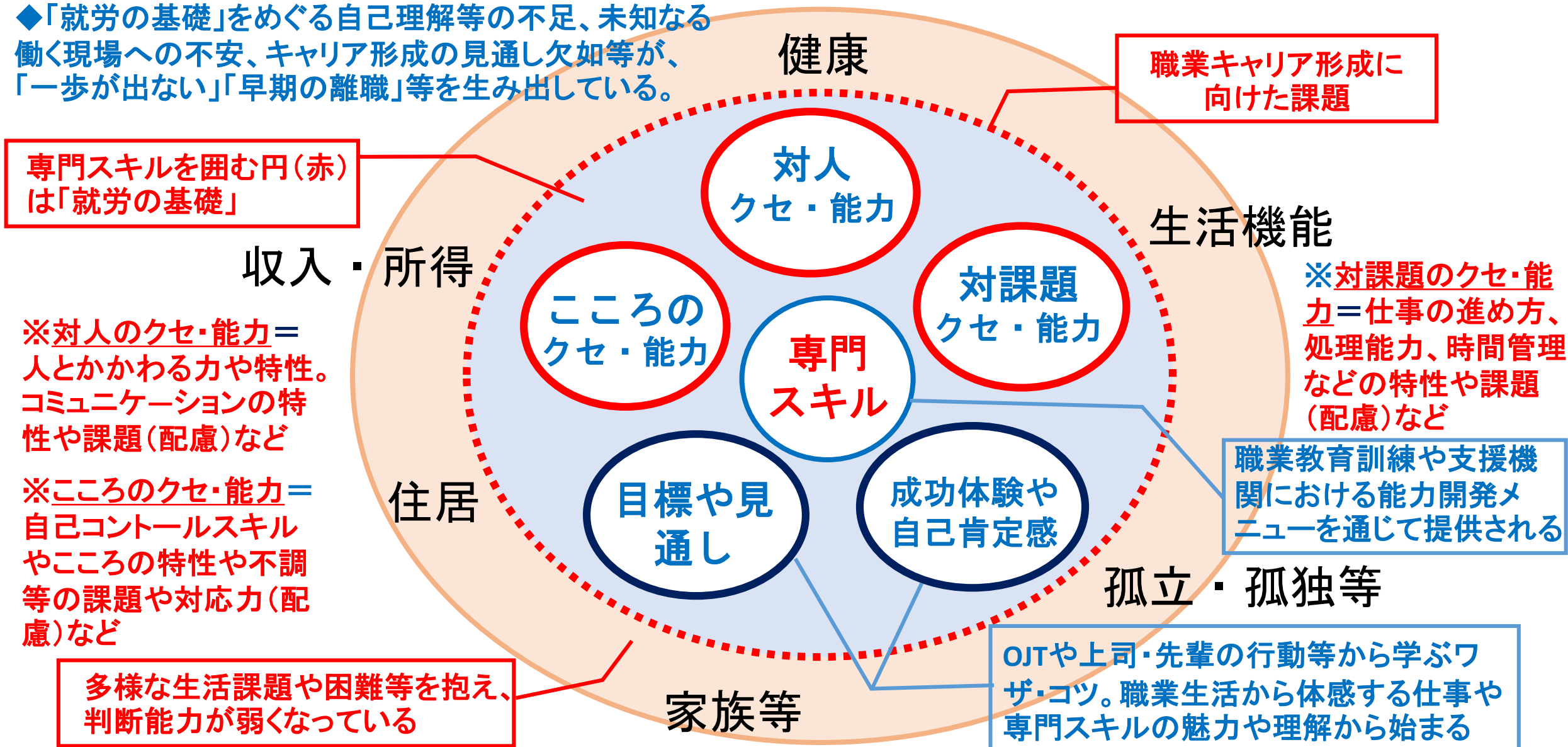
自殺対策やメンタルヘル
ス、地域福祉の取組み

権利擁護や紛
争解決支援

★就労支援の強化、就労準備支援事
業、就労訓練事業（中間的就労）
プロセスとしての就労支援へ
特に、キャリア形成支援
相談～就労準備、就労体験・訓練、
職業紹介、定着（転職）支援まで
※求職活動支援との違い

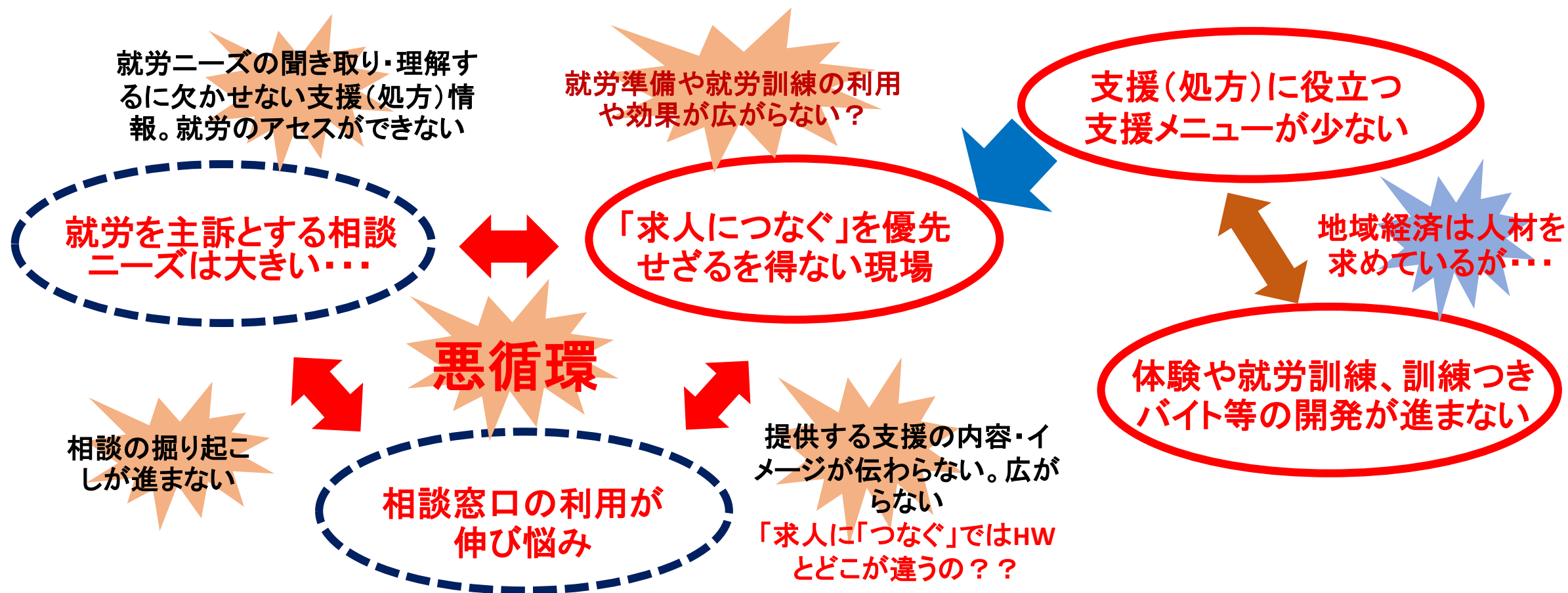
5 求職準備者（キャリアの模索・検討者）の悩み・課題

◆「就労の基礎」をめぐる自己理解等の不足、未知なる働く現場への不安、キャリア形成の見通し欠如等が、「一歩が出ない」「早期の離職」等を生み出している。



6 就労準備支援等の利用が推進できない原因は・・・

※相談窓口からは「もっと早く相談を利用してほしい困難ケースが多い(余裕にある支援が組めない)」「**就労面のアセスが難しい**」「**支援メニューが足りない**」など。一方で「就労準備支援や就労訓練の利用は進まない」「認定事業所から『利用しないのか?』のクレームも」「企業アプローチをしたいが、担当者が足りない、方策が見当たらない」・・・。何から取り組むべきか？



7 求職準備者、早期離職等を生み出す日本型雇用システム

※「長期雇用制度、年功賃金制度、企業内教育訓練、企業別組合」という我が国の雇用システムの特徴の影響は・・・？

職務の定めのない雇用契約

- 日本型雇用システムは、職務を切り出さず一括して労働者を採用する。

地位設定契約 メンバーシップ契約

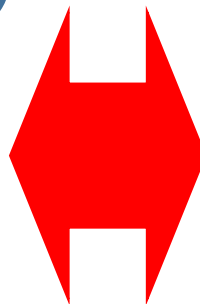


当たり前となってきた「働く・働き続けるしくみ・制度」

- メンバーシップ中心の発想
- 内部労働市場を重視
 - ⇒ 企業内教育訓練システムが中心
 - ⇒ 公共職業訓練の未発達
- 新卒一括採用という「就労のしくみ」の浸透
 - ⇒「就社」というしくみ

日本の外部労働市場の欠陥

①評価機能の脆弱さ ②移動コストの高さ



◆新卒一括採用等の「雇用のしくみ」から外れると、キャリア形成が厳しい

- 非正規労働
- 「世代効果」も影響した氷河期世代
- 専業主婦の就労(再就職含む)
- シニアのセカンドキャリア など

◆転社型キャリア形成、ジョブをつなぐキャリア形成が難しい(ぶつ切りのキャリア形成)

「働き方」改革 外部労働市場(中途採用市場、限定正社員等)重視に動き出したが・・・

8 欧米の雇用システムとの違い . . .

※外部労働市場をベースにしたキャリア形成のしくみ

職務を定めた雇用契約

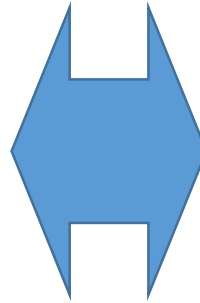
- 他の国では企業の中の労働をその種類ごとに職務(ジョブ)として切り出し、職務に対応する形で労働者を採用



「働く・働き続けるしくみ・制度」の形成

●ジョブ中心の発想

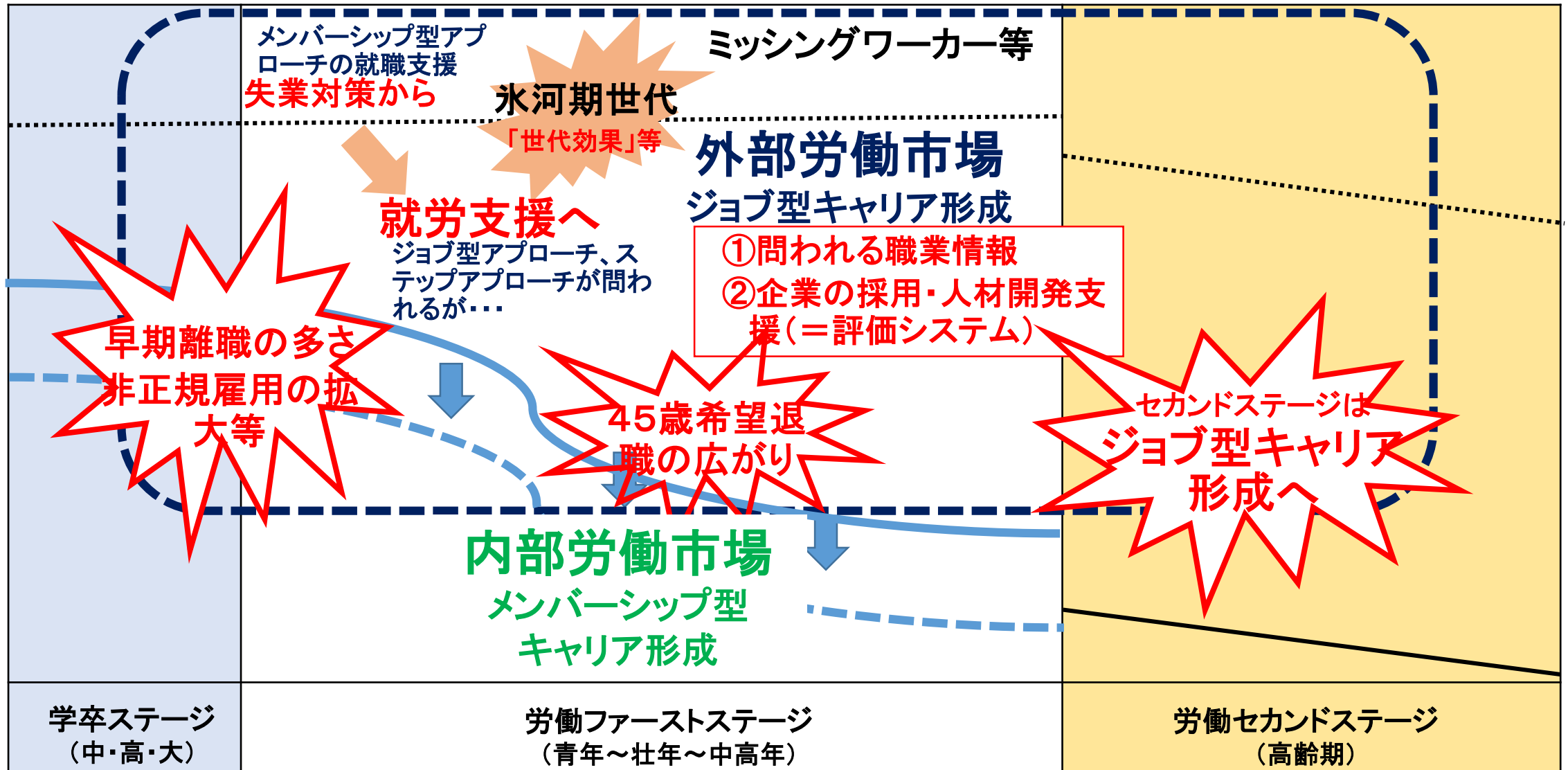
- ⇒ 公的教育訓練システムの発展
- ⇒ ジョブ中心のキャリア形成、転社・転職のしくみ
- ⇒ 就労支援も、個別相談支援、デュアルシステムや生産学校、「仕事の基づく訓練」等、働きながら学ぶ(公的教育訓練の改革等)を重視



外部労働市場の整備・発展

- ワンストップセンター(個別相談を重視)
- 職業情報の更新(O-net)やキャリアラダーの定義・言語化、支援
- 「労働力開発専門職」等の支援人材ほか

9 加速する「脱・日本型雇用システムの動き」

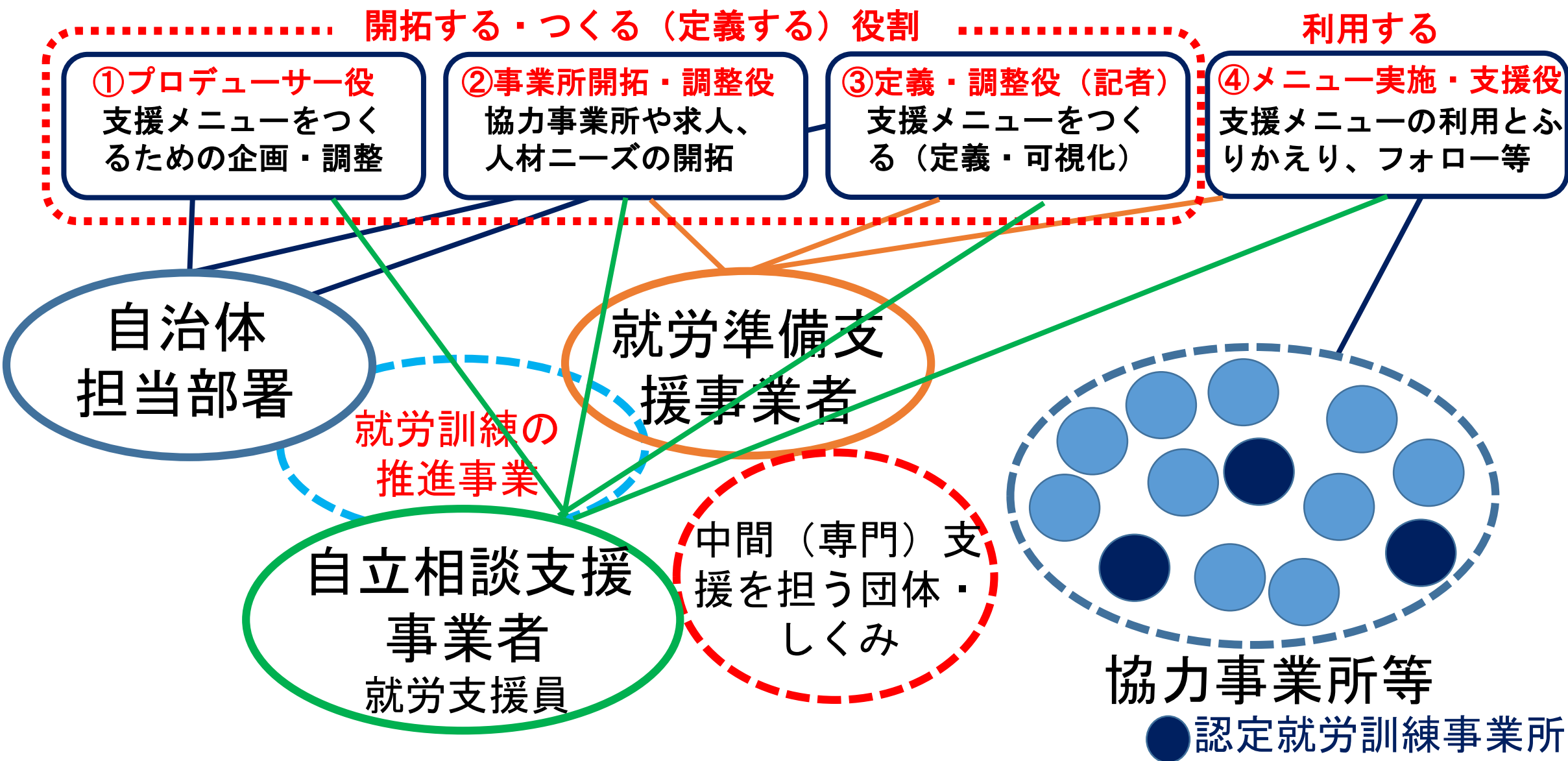


①職務の定めのない雇用契約 ②新卒一括採用への偏り ③内部労働市場を重視(企業内教育訓練中心)

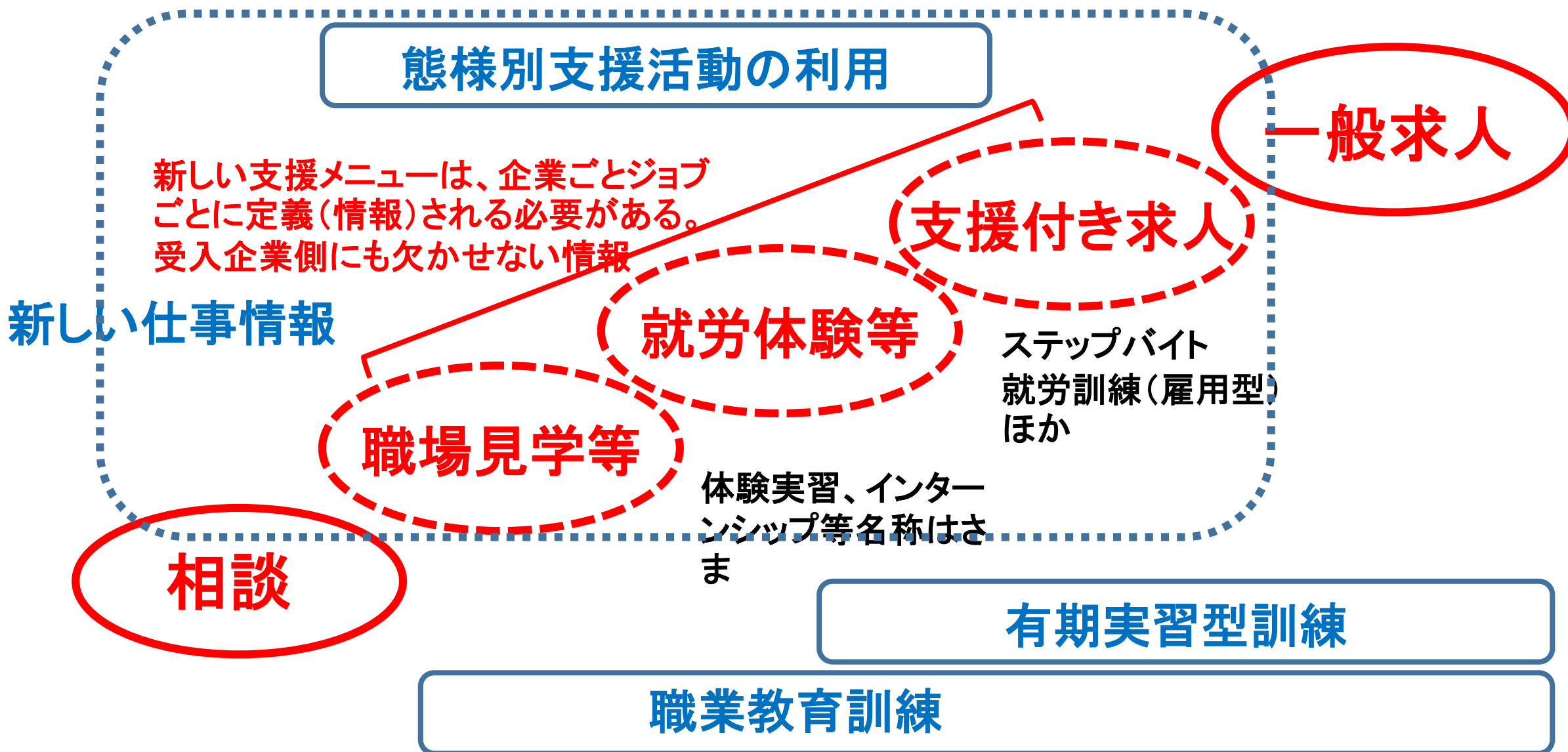


①外部労働市場の未発達(構造的弱さ) ②職業教育訓練ニーズの低さ

Ⅱ 就労支援の機能強化 ～メニューをつくり、利用を促進するのは誰？～



追加1 求職準備者が就労に向けて利用できる支援メニュー（情報）



追加2 支援付き就労等（中間的就労）の主なメニューと効果（例）

	（居場所等） 職場見学等 就労体験 短期バイト等 ＜スキルトレーニング等＞
①スキルのトレーニング（実務・座学）（集合型・個別）	●めざす目標を絞る段階 ●業種職種の選好段階 ●準備初期段階「就労の基礎」スキル ○制度の利用勧奨の手段（相談掘り起こし）
②職場見学・企業見学等	●めざす目標をさがす・絞る段階 ●業種職種の選好段階 ●キャリアラダー（広義）のスタート ○制度の利用勧奨（相談掘り起こし）
③アセスメントとしての就労体験	●自己理解、主訴の整理（意欲喚起） ●包括的相談支援の見極め 相談支援者に近い（安心度の高い）体験（庁内実習等） ○他機関への提供
④就労体験・企業実習・インターシップ等	●自己肯定感の獲得、主訴の整理（意欲喚起） ●包括的相談支援の見極め ●「就労の基礎」の特性理解・訓練等 ○制度の利用勧奨の手段（相談掘り起こし・他機関連携等） ○他機関への提供
⑤求人つき就労体験	●求職準備者から求職者へ移行（キャリアラダー（狭義）のスタート） ※無料職業紹介の活用
⑥支援つき短期バイト（ステップバイト等）、超短時間雇用ほか	●さまざまな雇用による（狭義）キャリアラダーのスタート ●制度の利用勧奨の手段（相談掘り起こし・他機関連携等） ○次のラダーの準備期（ケースによる長短あり） ※無料職業紹介の活用
⑦サロン・居場所・OB会OG会等	●就労への関心（②～⑥）の入口として ●③～⑥のフォローアップ（ふりかえり）の場 ※他の連携機関・団体によるメニュー利用もあり

追加3 新しい相談支援の官民協働と契約制度

相談支援(自立相談、就労支援等)の 調達と契約

1号随契による調達

2号随契による調達

3号随契による調達

総合評価落札方式による調達

指定管理制度による調達

優先発注制度による調達

※地方自治法施行令176条の2(随意契約) 1号～9号

- ◆少額随契。3号で指定する団体等と単独随契に
- ◆競争入札に適さないもの。公募プロポーザル方式など。
- ◆福祉関係施設等が物品・役務を調達。生活困窮者自立支援法による認定就労訓練事業者
- ◆総合評価＝価格と価格以外(施策への貢献、雇用や就労支援、防災対策等)の条件を総合して落札者を決定。

支援付き就労事業(民間の自主的事業)

体験・訓練、支援付き短期バイト等

認定就労訓練事業

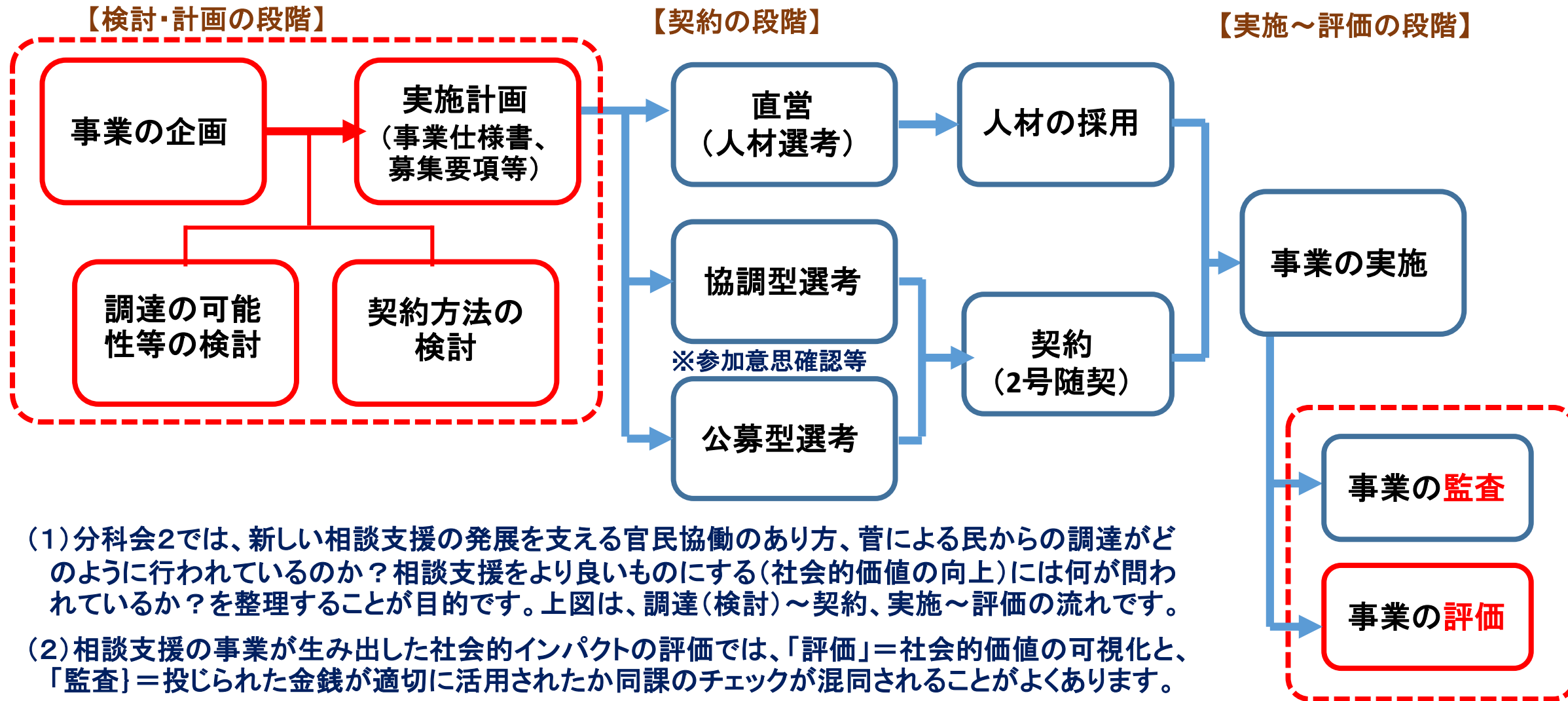
障害者就労継続支援事業

体験・訓練等の支援付き就労が広がっている。企業等による推進団体も(NPOわかもの就労ネットワーク(東京)、ステップ就労(柏原市)ほか)

生活困窮者自立支援法で、訓練付き就労事業を認定。

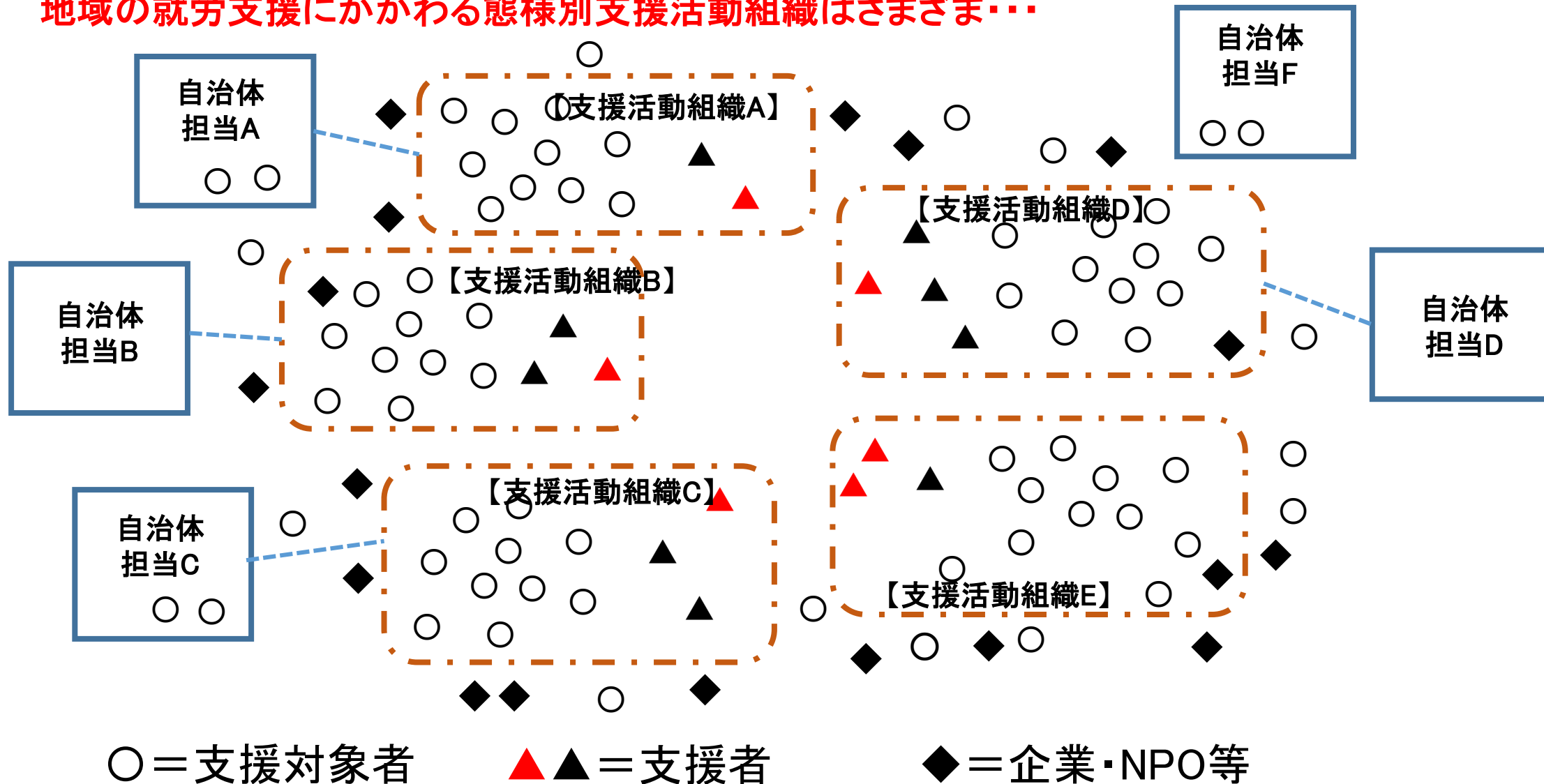
A型の導入支援。岡山のA型協議会

追加4 調達（検討）～契約・実施～評価のプロセス

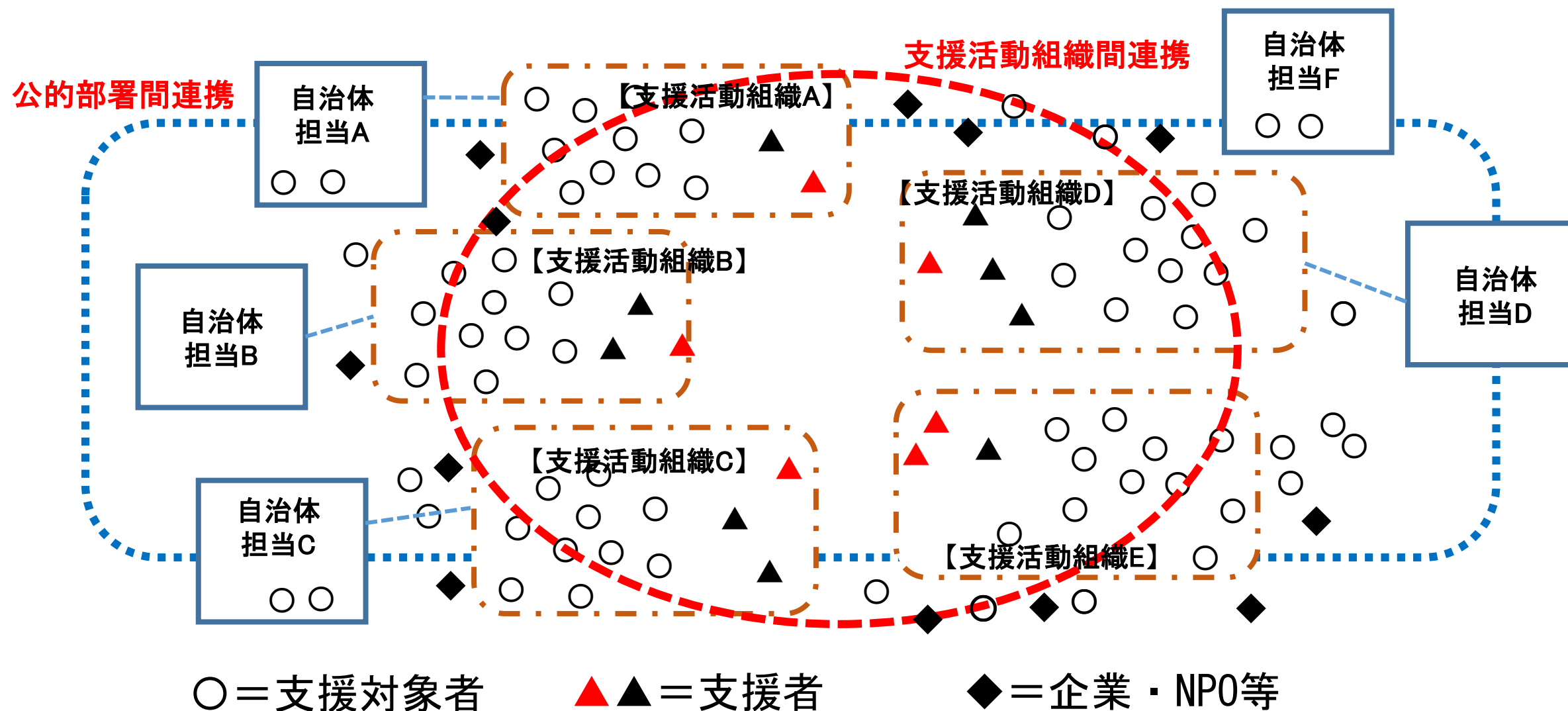


11 就労支援の機能強化を担うプレーヤー

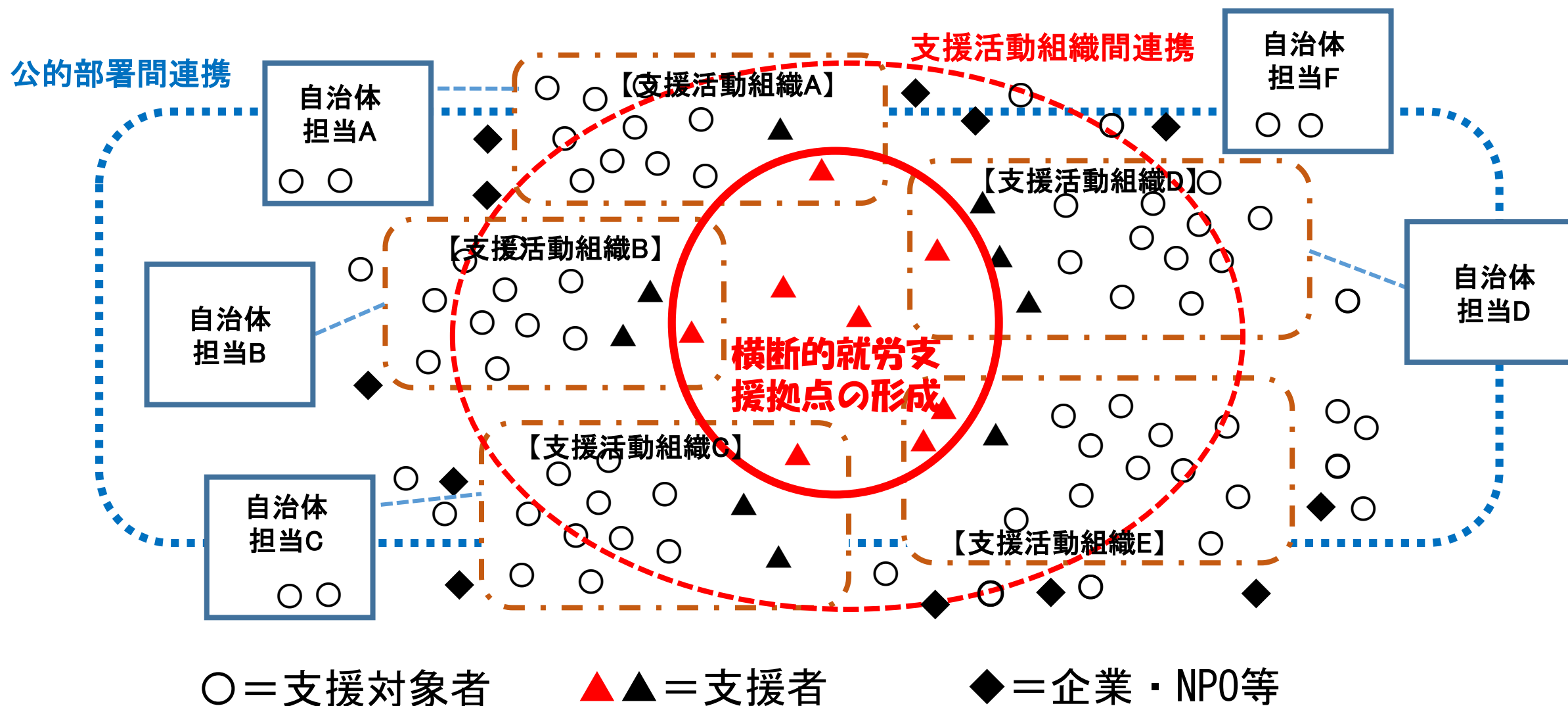
地域の就労支援にかかわる態様別支援活動組織はさまざま...



12 態様別支援活動組織の連携・ネットワーク化



13 「就労支援の拠点」＝態様横断的な支援機能・組織に向けて

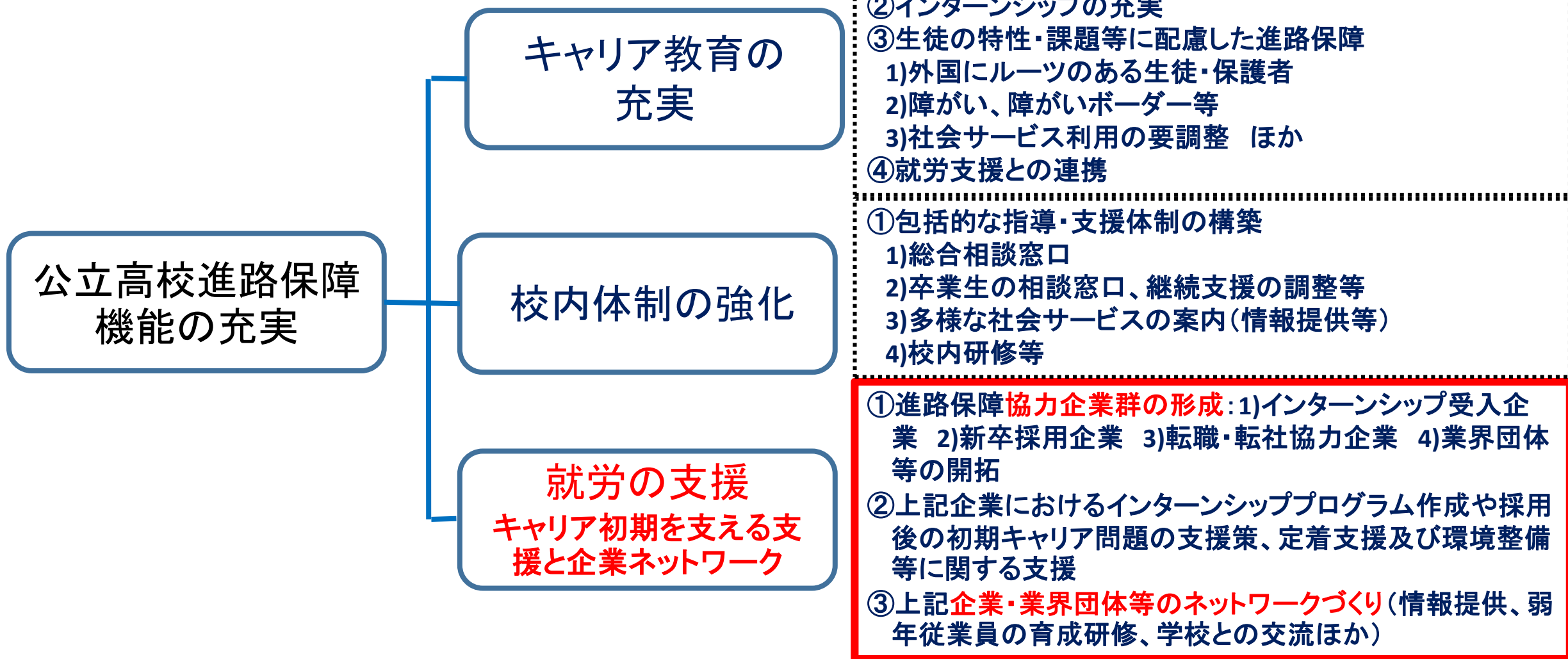


Ⅲ 企業との関係（中間的就労）に注目する態様別支援の取組み

- ①公立高校進路保障をめぐる教育委員会の試み
- ②見学会、体験実習・・・（豊中市）
- ③JA全農おおいた「労働力支援事業」
- ④その他

企業との関係づくり① 公立高校進路保障をめぐる教育委員会の試み

ここでいう進路保障機能は、エンパワーメントスクールにおける「学校から仕事へ」の移行期に問われる教育及び社会的サポートであり、産業そして雇用就労をめぐる変化、学校におけるキャリア教育等の展開などの学校内外の環境変化を受けて、その機能の再編・強化が問われている。



企業との関係づくり② 見学会、体験実習・・・(豊中市)



- ☐ 自分に合った仕事をみつきたい。 ☐ 地元の企業で働きたい。
- ☐ 就労に向けての一步を踏み出すきっかけが欲しい。
- ☐ 未経験の仕事に挑戦したい。 ☐ 自分にできるかどうか体験してみたい。

そんなあなたの希望に応える1か月。「地元で働こう！」のコンセプトで企業見学会や見学会前後に自己分析して働き方を考えるセミナー、実際の仕事を体験できるミニインターンシップと多様なプログラムを用意しました。参加者には就労支援専門員が個別の相談に応じ、面接までをサポートします。プログラムの選択は自由！この機会に豊中市と一緒に（with）仕事探しをしませんか。

令和元年（2019年）

● 期間: 11月1日(金)～29日(金)

● 内容: ◎企業見学会

◎セミナー

◎ミニインターンシップ

◎個別相談

※プログラムの詳細は裏面をご覧ください

● 会場:

◎セミナーは、生活情報センターくらしかん
(豊中市北桜塚 2-2-1)

◎企業見学会・ミニインターンシップは、
各企業にて開催

- 対象: 概ね 39 歳までの求職者
- 参加企業: 豊中市近隣の企業 10 社
- 参加費: 無料



プログラム & 日程

要予約・参加無料



企業見学会 11月6日(水)～14日(木)

● 豊中市近隣の企業 10 社のうち、希望の企業を選んでいくつでも見学できます。

午前 10:00～12:00 ※見学先企業の紹介は、市 HP に掲載しています。
午後 14:00～16:00 ※各社定員有 (2)は 5 名、(3)⑧は 6 名、他は 10 名。先着順。

※ミニインターンシップ日程

見学日時	※	企業名	業種	住所
① 11/6(水)	午前 B	株式会社廣済堂	印刷・出版	豊中市蛸池西町 2-2-1
② 11/6(水)	午後 A	ラクフル株式会社	インターネット通信販売	豊中市本町 4-1-22
③ 11/7(木)	午前 A	株式会社ヒデ工房	バッグ修理	池田市空港 2-2-5
④ 11/8(金)	午後 A	株式会社精研	空調設備設計施工	豊中市勝部 1-2-18
⑤ 11/11(月)	午前 B	グリーンリッチホテル大阪空港前	ホテル業	池田市空港 1-9-6
⑥ 11/11(月)	午後 A	有限会社栄和産業	カーマツ製造・販売	豊中市勝部 1-82-1
⑦ 11/12(火)	午前 B	共栄紙工業株式会社	パッケージ製造・販売	豊中市上津島 1-2-15
⑧ 11/12(火)	午後 A	日本管財株式会社	施設設備管理	豊中市柴原町 4-14-1
⑨ 11/13(水)	午前 A	株式会社鯖や	食品加工・販売	豊中市庄内栄町 4-21-40
⑨ 11/13(水)	午後 A	SABAR 南森町店	飲食店接客・販売	大阪市北区天神橋 3-2-37
⑩ 11/14(木)	午後 B	羽田タートルサービス株式会社	物流・運輸	豊中市服部西町 5-18-1

セミナー ① 11月5日(火)14:00～16:00 「企業にグイッとアプローチ、就活に役立てよう」

② 11月15日(金)10:00～16:00 「企業のハートをキャッチできる志望動機を作ろう」

● 企業見学会の前と後に開催。これからの就職活動にもきっと役立ちます。
※定員各回 30 名先着順。セミナーだけの受講も可能。講師やスタッフが書類作成のサポートをします。

ミニインターンシップ A 11月20日(水)～22日(金)

B 11月25日(月)～27日(水)

● 希望の企業 1 社で3日間仕事の体験をします。
※上記見学会の日程表に A・B の区別を掲載。
※企業との顔合わせや体験終了時の振り返りはスタッフがサポートします。
※ミニインターンシップ希望者は、企業見学会と個別相談の参加をおすすめします。

個別相談 11月1日(金)～29日(金)

● キャリアカウンセリングから面接対策まで、就労に関するご相談を受付けます。
※まずは予約の電話をしてください。ご相談のみも可能です。

申込み・お問合せ

◆ 期間中随時、＜豊中市くらし支援課 無料職業紹介所・豊中＞にて申込みを受付けます◆

○ 電話: 06-6858-6862

○ FAX: 06-6858-5095

○ メール: roukai@city.toyonaka.osaka.jp

○ 市 HP から申込みできます

※FAX、メール、インターネットから申込みされた場合には、ご希望の日程などをお聞きするため、こちらから連絡いたします。

※希望プログラム、お名前、連絡先をお伝えください

豊中市

ホームページ



最新の印刷技術の中で光る職人技



◆ITと印刷を融合したメディア分野をはじめさまざまなビジネスに挑戦

高度な技術が必要となる紙以外の媒体への印刷も手付け。印刷技術の進化を牽引する会社です。全国十数カ所に営業所や工場を持ち、ITや人材など印刷の枠組みを超えたさまざまな分野への事業展開を進めています。

印刷分野の拠点となる豊中工場では、企業・行政のPR誌や広報誌、パンフレット等の印刷物をデザインから印刷、製本まで一貫して生産しています。

最新の印刷機が立ち並び、熟練な作業が営まれている中、湿度や温度による発色の違いや紙の伸縮など、微妙な変化に対応して調整していくのは、長年の経験によって培われた職人技。20代から60代まで幅広い年代のスタッフが、印刷の品質に自信とこだわりを持って活躍しています。

◆5S（整理・整頓・清掃・清潔・親）運動にもものづくりの基本姿勢を学ぶ

工場内では印刷工程ごとに分業で進められています。はじめは最終工程の印刷物の包装や製本工程の一部などの作業から入り、個人の能力にあった作業を担当するなど段階的なキャリア形成が可能です。自分が関わった製品を直接手にすることができ、成果が実感できるのがこの仕事の魅力です。

また、5S運動をスタッフ全員で取り組み、徹底推進が徹底されているため、非常に快適な作業空間となっています。その中で仕事をする中で、ものづくりの基本姿勢を身につけることができます。

◆企業データ

- 【設立】 1948年1月
- 【事業内容】 情報コミュニケーション事業
人材ソリューション事業
ライフスタイルデザイン事業
- 【従業員数】 220名（企業全体1337名）
- 【所在地】 豊中市東山町12-3-1
- 【アクセス】 阪急宝塚線・大塚モノレール「世社」駅 徒歩10分



旅するバッグを蘇らせるリペアの仕事



◆スーツケースやキャリーバックなどのリペア（修理）のニーズにこたえる

メンテナンスやリペアは昔からある仕事ですが、大量消費の時代であっても使い慣れたモノ、それぞれ物語のあるモノを大切にしたいという人が増え、新しい需要、仕事として注目をされています。大阪国際空港近くにあるこの会社では、主に航空会社からの依頼を受けて毎月1600個ものスーツケースやキャリーバックのキズやへこみ、キャスターやハンドル部分の修理やパーツ交換を行っています。

修理品の受付けをして持ち主とのやりとりをしながら修理箇所や納期の確認をする受付事務担当、一つひとつ手作業でバッグの修理をする修理担当、持ち主に返還する作業を扱う出荷担当が連携して作業をしています。20代から60代まで幅広い年代の人が活躍する職場です。

◆未経験からリペア技術を習得

修理の仕事は、修理箇所や内容がさまざまなので、毎日新しい作業への挑戦です。空いた手を想像しながら長く使えるように自分で考え、工夫できるのが特徴。新品同様に戻ったスーツケースを送り出す楽しさがやりがいになる仕事です。

ほとんどのスタッフが未経験からのスタート。ベテランスタッフの指導のもと、工具の使い方など段階的に覚えて経験が積めるよう工夫されていますので安心してチャレンジできます。

◆企業データ

- 【設立】 2013年1月
- 【事業内容】 旅行前の準備
靴・スーツケース・キャリーバックの販売
修理やのスーツケース等の無料レンタル
- 【従業員数】 20名
- 【所在地】 池田市京田2-2-5 大塚ビル141号
- 【アクセス】 大阪モノレール「大塚駅」 徒歩8分



御社の仕事や働き方は求職者・求職候補者に届いていますか！

求人情報のほかに

見学・実習ツール

をそろえてみませんか？

- ◆職業イメージや目標で悩む「求職準備者」が増えています。
- ◆求人情報や面接会で不安を感じている彼ら彼女らに新しい企業情報を作成してお届けします。



求職者・求職準備者の「不安な気持ち」とは…

求職者の不安：採用後しか作業や職場の環境が分からないから怖い。採用前に知ることができたら…。

企業の悩み①：配属された人材が悪かった人材とは違った。面接でわからなかった…？

企業の悩み②：新人が急に辞めた。理由は「あわなかった」から。改善策が打てない…。

企業の悩み③：見学や体験実習を受入れてみたが、何を準備すれば…？

御社で
『見学・体験
実習ツール』
を作成して
みませんか？

「見学・体験実習受け入れ応援ツール」とは

豊中市では、市民の就労相談や職業紹介、市内企業で働きたい人への仕事紹介をおこなっています。その中には職業経験が少ない若者や離職期間が長くなった中高年や女性、セカンドキャリアをめざす高齢者など、まだ目標が決まっていない求職準備者が多くいます。その支援の中で、企業の仕事や働き方を身近に知る・理解するチャンスを作っています。「見学・体験実習受け入れ応援ツール」は求職準備者に御社を知る・理解してもらう、御社をめざす求職者候補を応援し育てるツールです。

「見学・体験実習ツール」
で広く訴求。そして確かな
マッチング



体験実習でミスマッチ防止！
働きながら学ぶ＝新人の定着を視覚化！



求人ではわからない！
経験する・知る・学ぶから
「働く」をスタート！

お気軽にお問い合わせください（A'ワーク創造館 TEL 06-6562-0410）

1 応援ツール 概要

①企業概要シート

（働く視点で御社の魅力を整理したシート）



（写真入り）

- ✓ 企業概要
- ✓ 働いてる方の傾向
- ✓ 職場環境・教育方針

②体験実習シート

（体験する作業内容や特徴、学べる事を整理したシート）



（写真入り）

- ✓ 体験内容・場所
- ✓ 体験スケジュール
- ✓ 体験の特徴・目的・魅力

2 応援ツール 作成フロー

お問い合わせ

A'ワーク創造館にお気軽にお問い合わせください。

担当者訪問

担当者がご挨拶。事業内容を説明し、体験実習用の作業についてご相談します。

洗い出し

相談させて頂いた作業を「作業洗い出しシート」にメモして、メール等でご提出ください

担当者訪問

担当者が「作業洗い出しシート」をもとに御社の魅力や仕事の特徴を伝える内容をお聞きして整理します。あわせて写真撮影も行います。

チェック

作成した「応援ツール」2点をお届けしますので最終チェックをお願いします。

完成

完成まで約2週間ほど頂戴しております。シートが完成すれば、豊中市が体験希望者にご紹介ご案内します。



3 見学・体験実習を経験した人、企業

【見学・体験を経験した30代男性】

未経験の業種で、機械や工具を使っただけの作業は初めてだったのでうまくできるか不安でしたが、丁寧に教えてもらい、安心して取り組むことができました。様々な作業に取り組む中で、意外とコツコツした作業に向いていることに気づくことができました。



【体験生を受け入れたA社】

「見学・体験実習ツール」を作成することで業務を洗い出す「きっかけ」となり、また視覚化することで求職候補者に作業内容をしっかりと伝えることができました。その後、見学から体験へとつながり実際に作業を体験いただくことで、面接ではわからなかった特徴や性格が見え、ミスマッチ防止へと繋がっています。



お問い合わせ先

A'ワーク創造館（大阪府職業能力開発センター）「就労体験」デスク 担当：田中・藤
〒556-0027 大阪府大阪市浪速区木津川2-3-8
(TEL) 06-6562-0410 (URL) www.adash.or.jp/ (e-mail) work@adash.or.jp

※企業向け案内チラシ(例)

企業との関係づくり③ JA全農おおいた「労働力支援事業」

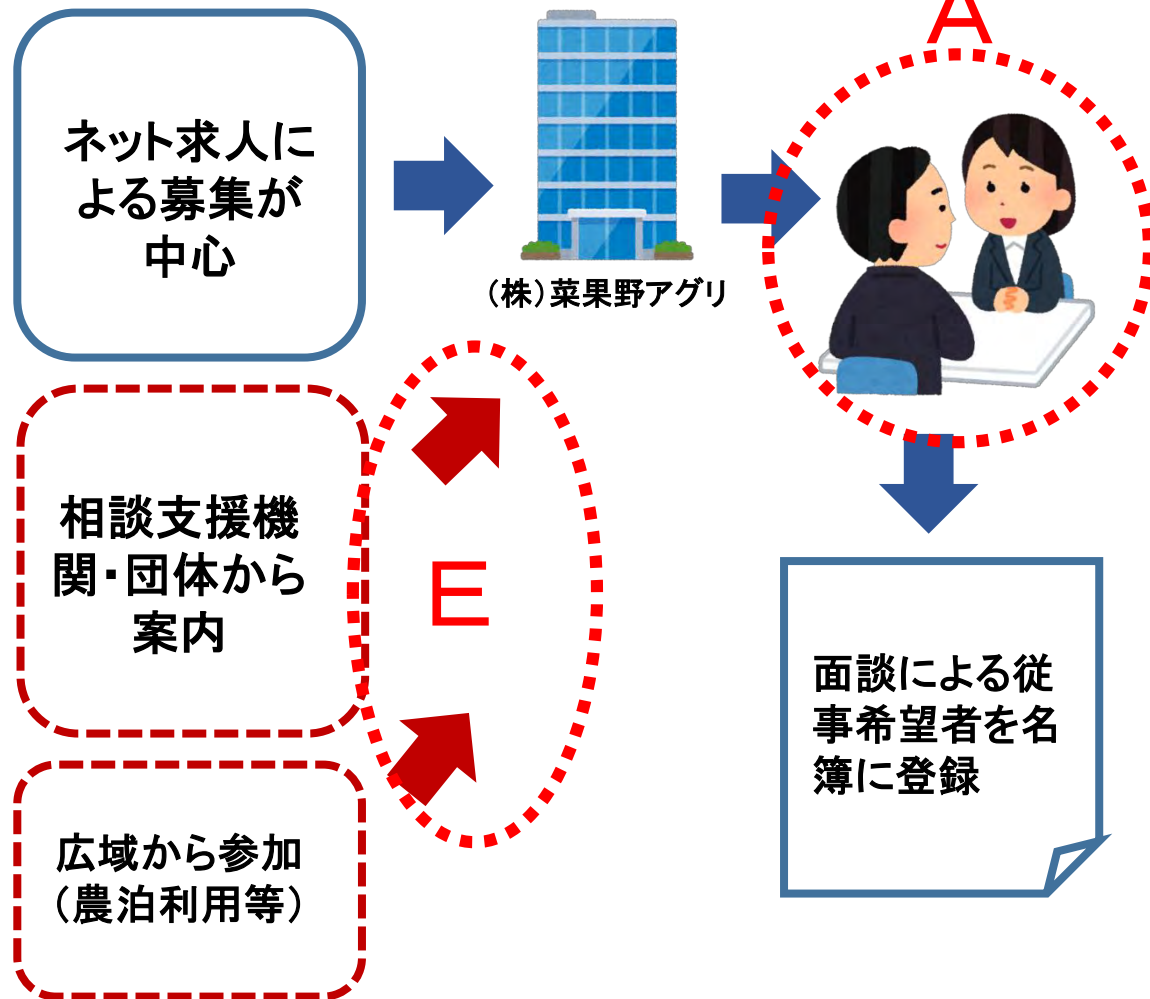
- JA全農大分「労働力支援事業」は、地域の人口減少が進む中、従来のパート・アルバイトに頼った農作業が困難になった**独立農家の生産維持、生き残りを支援**するために検討された。
- 大分県内で比較的人口が集まる拠点都市・大分市や別府市、日田市から**就労希望者を農家の農作業につなごう**と構想された。⇒ 繁閑がある**農家の人材需要の特徴：時期スポット型**に対応するには・・・？ 課題は「**変動可能な人材インフラ**」をどうつくるか？
- 就農希望者ではなく広く就労を希望する者に注目。農業ではなく**農作業という形で従事するハードルを下げた**。さらに「1日でもよい」＝**希望する日に従事できる、現場までの送迎がある**。そして、**現金日払い**という条件を考えた。⇒「**農作業で副業**」というコンセプト
- この就業条件で人材を集め、作業チームを編成し、請負作業を完成させる「**パートナー企業**」を構想し、その候補企業を探した。
- 並行して、農作業を請負で出す農家を組織。**農作業をどう切り出すか、その費用をどう見積もるか、チーム運営のために作業の構造化・標準化をどこまで進めるか、全農のスタッフが作業現場で模索しながら進めた**。
- そして、**パートナー企業**（農作業請負会社）の第1号、**(株)菜果野アグリ**が誕生。繁閑がある農家の人材需要＝作業発注に応じて、作業チームの従事が始まった。「**必要なときに必要な労働力が確保できる効果**」はすぐに生産性の向上につながった。
- 労働力支援事業は、「就労したい」「キャリアの中断を補完したい」等を望む**求職準備者**に届き、**就労のステップを歩むための貴重な中間的就労の機会**となっている。

※類似事例：特例子会社ひなり（浜松市）。農家からの作業受託を取り入れ雇用の周年化を図る

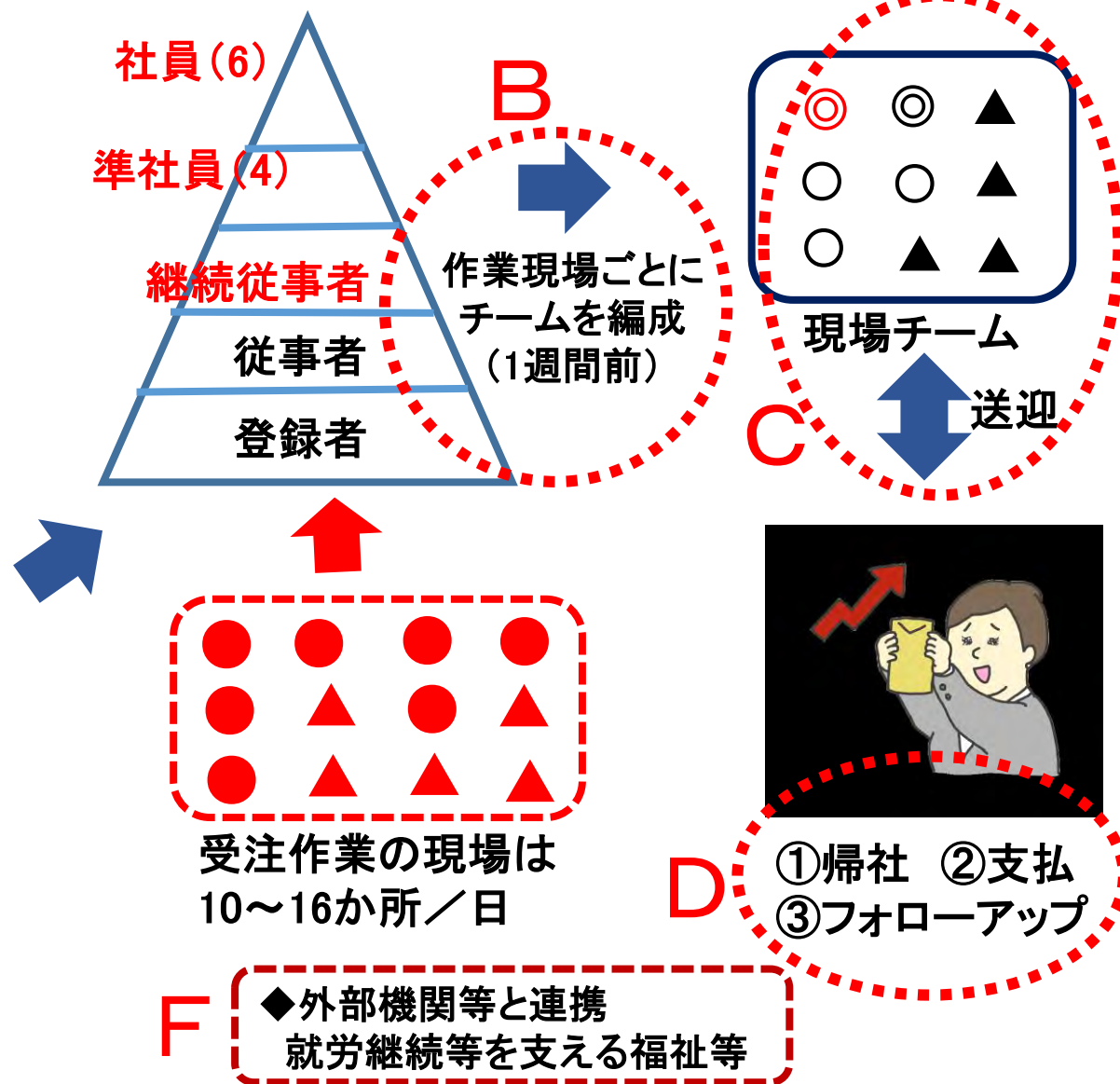
【資料】パートナー企業の主な機能・役割

【大分】(株)菜果野アグリ・モデルをもとに

【人材の発見・登録ルート】



【従事者の配置・マネジメント】



◎=責任者

◎=運転担当

- JA全農おおいたは、「農業に興味がある皆様を歓迎・支援します」
「大分県産品を食べて参加、1日体験だけ、バイトだけ、プロを志す方、皆さん歓迎です」
- 「ふるさと」はみんなが少しずつ助け合って育ちます。
労力・接点の大きさに関わらず「農業関係人口」が「ふるさと大分」の宝です。
私達は協同組合です。農業に興味のある方はどなたでも大歓迎です。
- JA全農おおいたと一緒に「ふるさと大分」を創りだしてみませんか！

ふるさと大分
～ 作って応援！ 食べて応援！ ～

副業 農業

特に高齢会員の皆様の
積極的な農業現場への
参加をお促ししております。



「お試し体験で一日だけでもOKです」
「週1日だけの出勤でも構いません」
「現場までの送迎もあります」
「給与は現金日払いになります」
「農業の知識や経験はなくても大丈夫です」

お問い合わせはこちら！！
☎ 0120-846-6888
パートナー企業 株式会社アグリ 大分県農協

JAグループ大分
JA全農おおいた

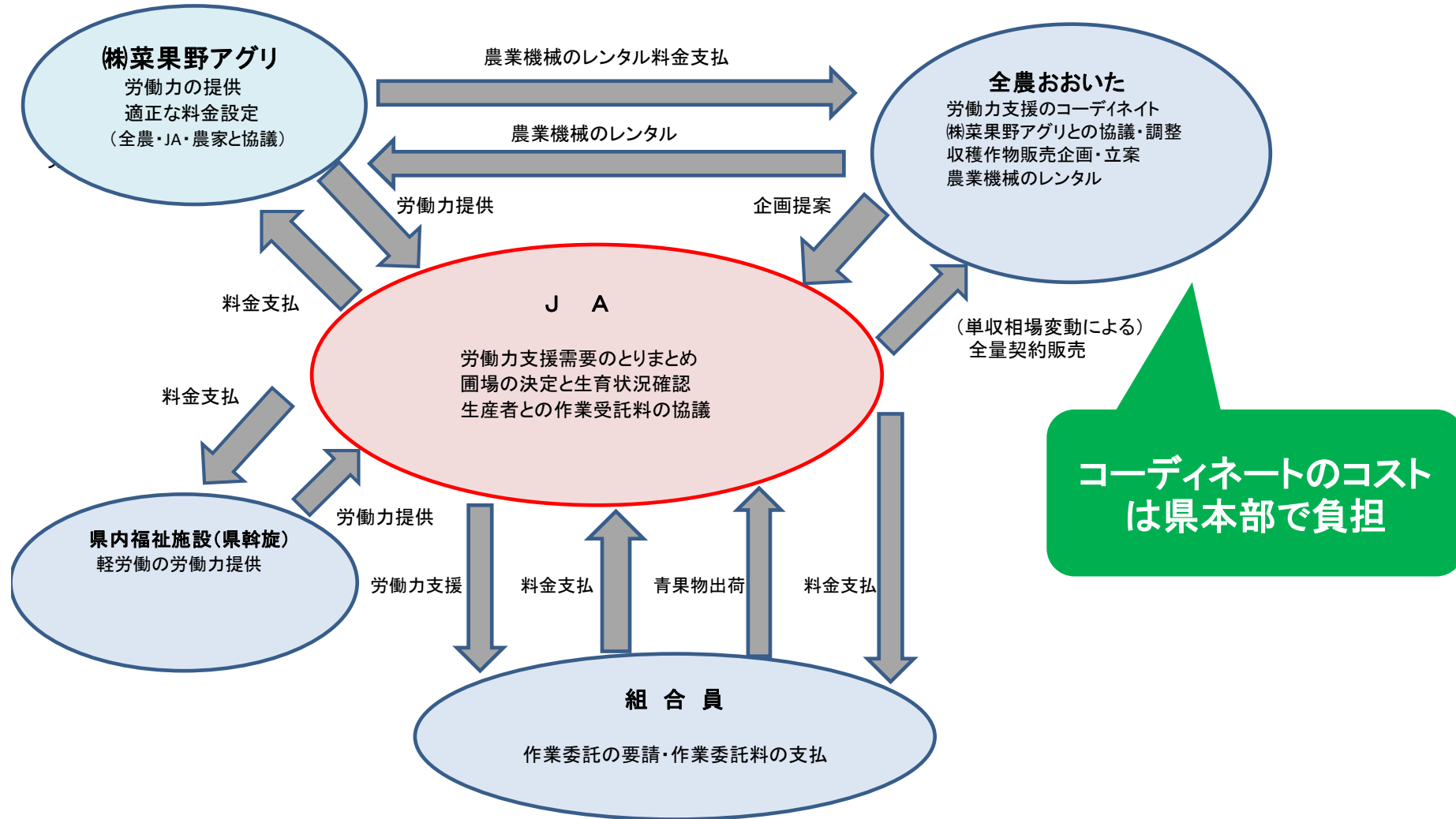
の大地を自らで守ろう！
いつもはサラリーマン
休日は、農業で副収入。
休日は、農業で副収入を
得ながら農業勉強！
いつか、プロの農家になる！



「JA全農おおいた」は
労働力不足で困っている
農家もお手伝いします！！

労働力支援はJAが組合員に対して提供するサービスです

労働力支援のイメージ図



JAグループ大分は組合員が必要な時に必要なだけ労働力を投入できる仕組みを構築しています。

パートナー企業 (株) 菜果野アグリについて



登録人数: 約200名
日々の支援人数: 60人～80人

労働力支援による経済効果

～農家所得の増大について。キャベツの収穫販売が押し上げる営農ビジョン～

大分 県北地域のキャベツ生産の状況について

大分県北部に位置する中津市、宇佐市は県下を代表する水田面積を有し、経営主体は米、麦、大豆を中心とする土地利用型農家が多く、米、麦等国の農業施策の厚い恩恵を受けて経営する農家が多い。

この様な国の農政の中で、

今後の農政に不安と農業所得の向上を図りたいという農家が、JA全農おおいなが進める「キャベツによる所得拡大」に向け取り組んでいる。

平成28年統計

	人口	耕地総面積	水田	畑
中津市	85,378	3,870ha	3,010ha	857ha
宇佐市	58,879	8,000ha	6,880ha	1,120ha

	総農家戸数	主業農家
中津	2,497	276
宇佐	3,445	522

JA全農おおいなが目指すキャベツ10a当りの所得目安

反 収	6,000	kg/10a
販売単価	65	円/kg
粗販売目標	390,000	円
収穫労賃・資材費・運賃等	245,000	円
農家支払額 (苗・肥料・農業・借地代を含む)	145,000	円

大分県北部(中津市、宇佐市)の全農との契約キャベツ面積の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
冬取り(11月～4月収穫)	1.8ha	8.3ha	10.1ha	16.5ha
春取り(5月～6月)	-	4.3ha	3.1ha	3.0ha
合計	1.8ha	12.6ha	13.2ha	19.5ha

収穫時期	品種	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
11下～12中	おきな 錦恋	●	▲			■	■						
12下～1下	夢舞台 大御所	●	▲				■	■					
1下～2下	夢舞台		●	▲				■	■				
3上～3下	冬そだち		●	▲					■	■			
3中～4上	冬のぼり 夢舞妓		●	▲						■	■		
5上～6上	恋錦 YR天空					●	▲					■	■

中津市 キャベツ生産者の契約キャベツの取組み例					
中津市キャベツ生産者A氏の契約キャベツ面積の推移					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
冬取り	0	1.5ha	3.0ha	3.7ha	5.8ha
春取り	0	-	1.0ha	1.0ha	1.0ha
合計	0	1.5ha	4.0ha	4.7ha	6.8ha
中津市キャベツ生産者A氏のキャベツ導入による経営状況(概要)					
	平成25年度		平成28年度		
品目	作付面積	粗収入	作付面積	粗収入	
キャベツ	0 ha	0 千円	冬取	3.7 ha	5,016 千円
			春取	1 ha	1,074 千円
			合計	4.7 ha	6,090 千円
米(食用米)	13 ha	11,400 千円	食用米	4 ha	3,300 千円
			飼料米	11 ha	8,600 千円
			合計	15 ha	11,900 千円
麦	15 ha	8,500 千円	補助金対象	14 ha	8,700 千円
合計		19,900 千円			26,690 千円
その他	主な支出		主な支出		
	水田 13haの借料 (1万円/10a) 1,300千円		水田 15haの借料 (1万円/10a) 1,500千円		
	畑 6haの借料 (5千円/10a) 300千円		畑 6haの借料 (5千円/10a) 300千円		
	農業機械導入費		農業機械導入費 農業機械の修理費 人件費		

この取り組みを通し…
● 大分県北キャベツ部会」が設立。
● 10名中2名がこの取り組みを通じて後継者
(息子)を呼び戻している(「**筆書け**」)

農業収入:平成25年度1990万円→平成28年度2669万円と上昇。農家所得増大に貢献。

パートナー企業 (株) 菜果野アグリについて

Q1.何故、菜果野アグリは人が集まるのか？

A1.①現金日払い、②勤務時間・日数は応相談、③作業現地への送迎。④閑散期の人離れリスク、品質・気象・圃場環境等の出来高リスクを全農園芸部と分担(菜果野アグリの農業参入)。

Q2.どういう人が働いているのか？

A2.ア. 常に定職に付かないフリーターと思われる人(ミッシングワーカー層)。

イ. 30代～50代の主婦層。

ウ. 大学生のアルバイト。

エ. 次の職場に転職するまでのアルバイト。

オ. 定職はもっているが休日に副業として働きたい人。

カ. 農作業が好きで趣味で来ている人。

キ. 精神・身体に若干の障害があり会社努めが厳しい人。

ク. 将来就農したい人。

ケ. 定年退職者の再就職の場(定年帰農)です。

A2.のような労働者を広くリクルートする環境整備 ≡ パートナー企業の育成となります。

1. どうやって農業に関わるの？

農作業をする人・継ぐ人がいないの？

就農希望者が
いない？

NO !

非農家出身
就農希望者

私は農協と関
係ないよ？

NO !

農協組合員
じゃなくても農
業で働く機会
があります

農業は稼げ
ない？

NO !

JA・全農が
作った農産物
をがんばって
売ってくれる

一生ずっと
農業する？

NO !

パート、1回
限定体験、
季節労働
だってある

親が農家じゃ
ないと無理？

NO !

サラリーマン
的に働ける農
業機会もある

大分に知人な
しだと無理？

NO !

JA・全農大分
は農家や農業
就農機会を紹
介してくれる

人がいないのではない・農業の人気のないのではない
「ただ、みんなが働ける農業のチャンスがないだけだ」

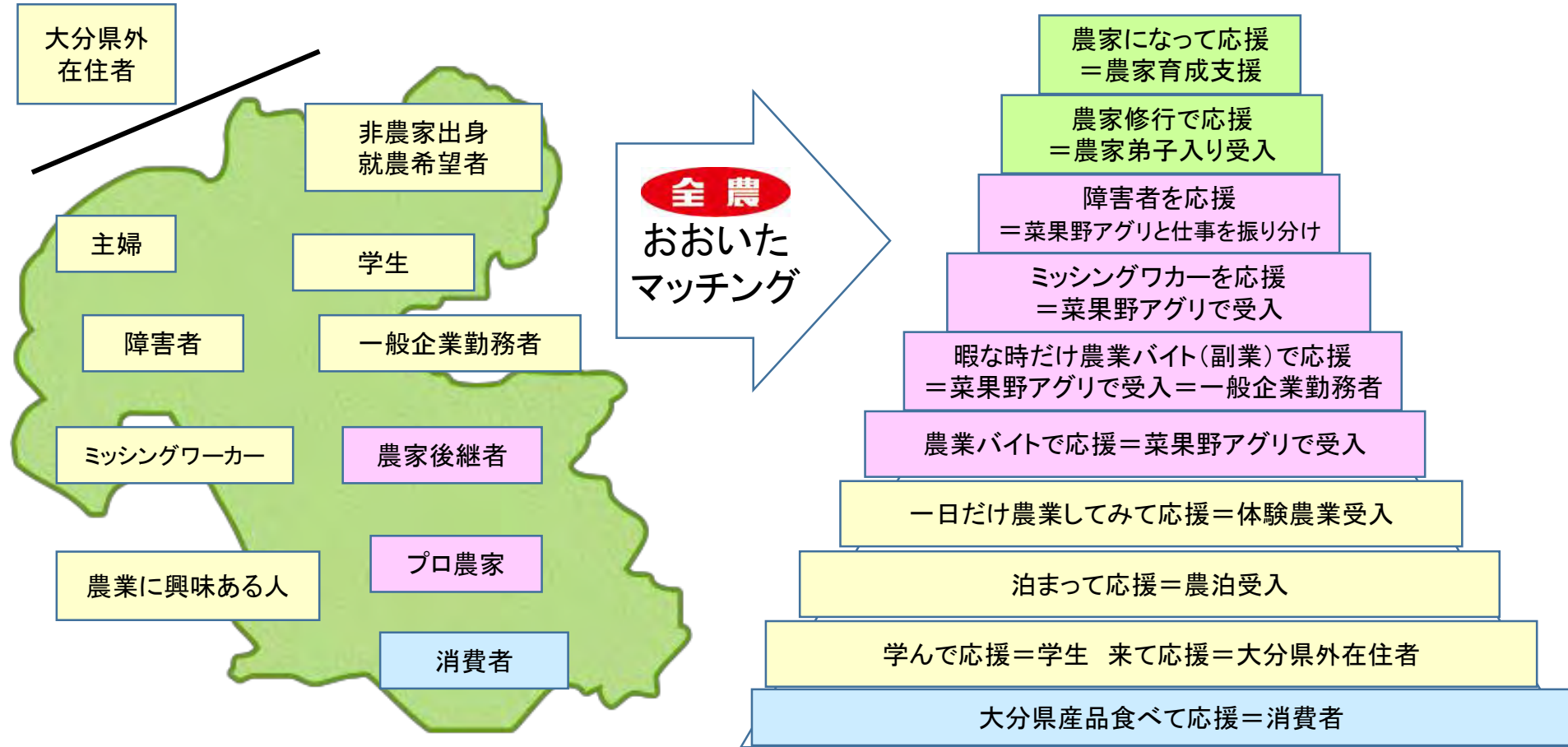
JA全農おおいたは、「皆さんに働ける農業の場を提供します」
「農業を通じて「ふるさと」を守ります」

【現状】

- ・農家の子供が主な後継者候補
- ・大多数は農業に興味があっても農業に関われない

【解決提案】

- ・JA全農おおいたは「全ての人」に農業機会を提供（農業一日体験、農業バイト、農家弟子入り等）
- ・みんなで農業を支えて、ふるさとを守ろう

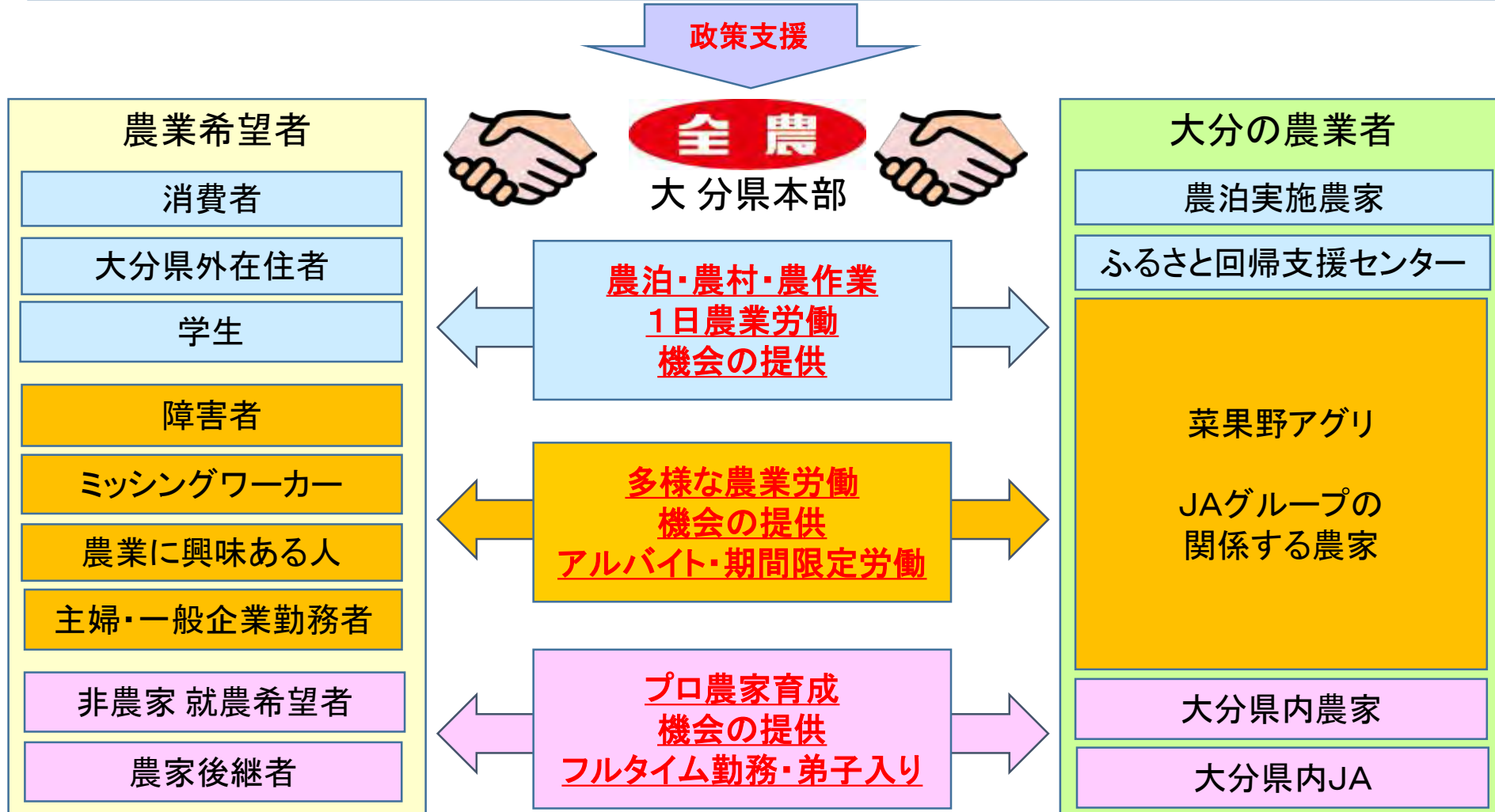


JA全農おおいたは、「農業でみんなが輝ける ふるさと大分」をつくれます

3. 解決提案(概略図)

「農業希望者と大分の農業者を繋ぎます」「すべての人に農業参画機会を提供します」
○JA全農おおいたは、「すべての人が自分に適した形でムリなく輝ける機会を提供できます」
「各省庁・自治体と連携して、ふるさと大分を創ります」(地方創生)

今後御支援を頂きたい各省庁様→内閣府・農林水産省・経済産業省・厚生労働省・文部科学省・観光庁・大分県内自治体・教育機関



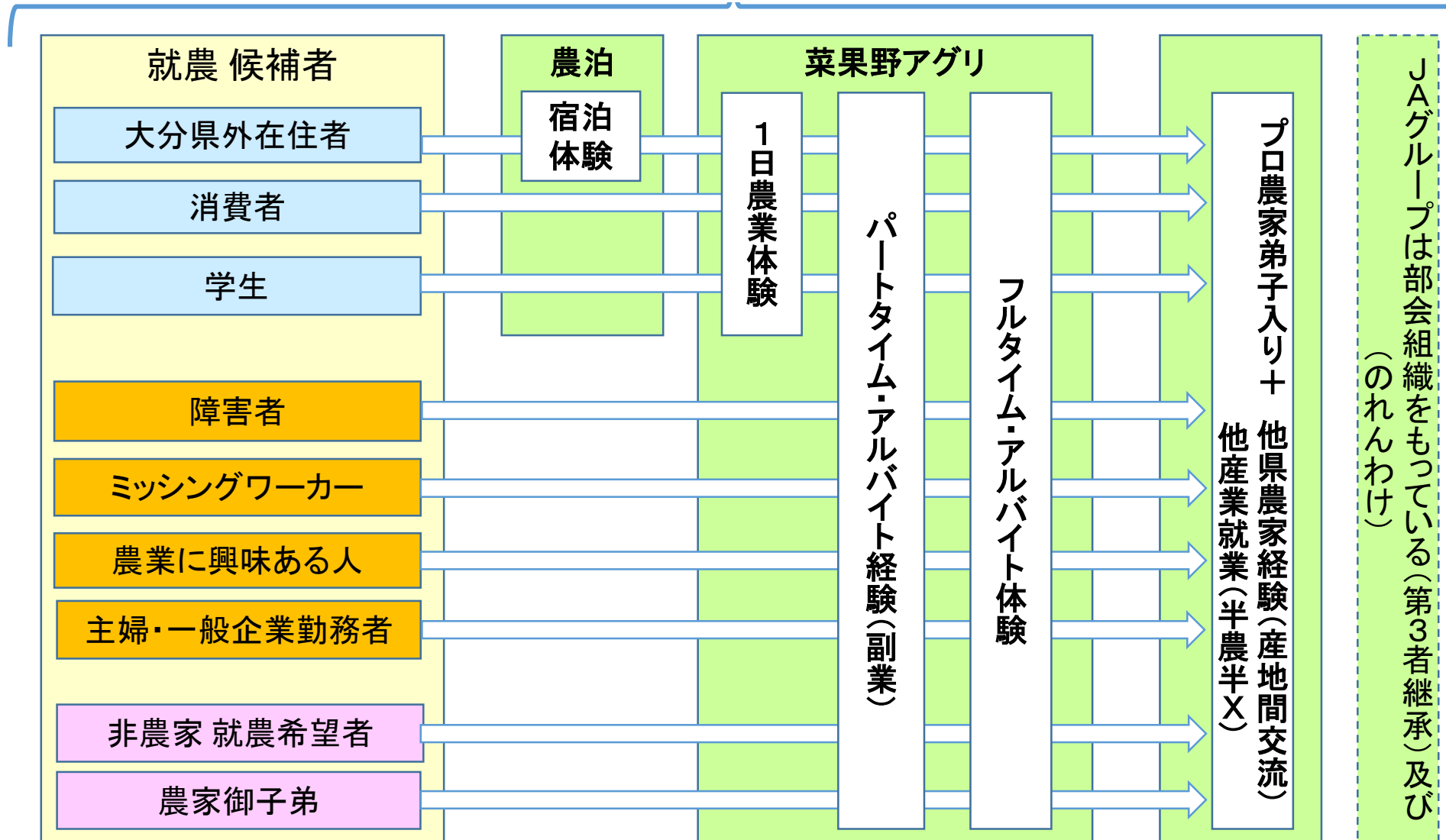
4. 解決提案(スキーム)

全農

○JA全農おおいたは、「初心者からプロ農家志望者まで、一人一人にマッチした農業機会をマッチングします」
「菜果野アグリ、大分県農家中心に一直線ではない、多様な就農形態を提供します」

全農

大分県本部がマッチング＆プロデュース





株式会社 菜果野アグリ

な か や

ごあいさつ ～農業労働力支援パートナー企業を目指して～

(株) 菜果野アグリはJAグループと共に、主に九州の大分県で農業労働力支援を行っています。農業では生産者の高齢化による栽培面積の縮小や、耕作放棄地の増加、深刻な人手不足による調整場・選果場の稼働低下が問題となっています。「農業、そしてふるさとを守るためのお手伝いをしたい」という思いから、私たちは立ち上がりました。今では大分県内の生産圃場、調整場、選果場、育苗施設等に対し、日々、約60名を支援させていただくまでになりました。将来、就農したいという方から「菜果野アグリで働くと、色んな作物や作業の勉強ができて、お金がもらえるから良いね」という言葉を聞いたとき、心から嬉しいと思ったと同時に弊社の社会的な役割を再確認し、気持ちが引き締まりました。今後もJAグループ、行政の皆様と一体となって、全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



代表取締役社長
中谷チサト

会社概要

会社名	(株) 菜果野アグリ
代表取締役	中谷チサト
所在地	〒870-0844 大分市古国府 1 2 2 0 (JA全農おおいた敷地内)
TEL	0120-846-688 (097-545-1811)
設立	平成27年4月
資本金	1000万円
事業内容	1. 農産物の生産、加工及び販売 2. 農産物を原材料とする物の製造、加工及び販売 3. 農産物の貯蔵及び運搬 4. 農業生産に必要な資材の製造及び販売 5. 農作業の代行、請負及び委託 等
主な取引先	JAおおいた等、各地域のJA

作業実績

	2016年度作業実績 (2016.4月～2017.3月)		2017年度作業比率 (2017.4月～12月)	
	比率	従事者延べ人数 (人)	比率	従事者延べ人数 (人)
選別・調整	47%	4,857	52%	6,305
収穫	41%	4,303	27%	3,364
育苗関係	7%	783	12%	1,421
ビニールハウス関連	1%	54	2%	222
植付	1%	64	2%	186
栽培管理(芽掻き・薬掻き)	2%	167	1%	137
付随作業(草刈・マルチ剥ぎ等)	1%	84	1%	56
自社栽培(キャベツ・ほうずき)	0%	0	3%	206
計	100%	10,312	100%	11,897

写真左：荒廃した畑。写真右：そこを私達がJA組員として自ら耕作し、定植したキャベツ畑。
(大分県竹田市長湯地区)

主な仕事内容

収穫支援



キャベツ、白菜、かぼす、梅などの収穫をします。写真はキャベツの収穫です。

調整・選果支援



トマト、みかん、ニラ等をバック詰めしたり、形を整えたりします。写真は七草のバック詰めです。

活用事例

～働きながら農業が学べる職場～



繁忙期の手伝いを頼みたい ～
農業者として菜果野アグリに支援を依頼したい方へ～



様々な品目の作業を現場で生産者やJA職員と連携します。あつた就農の機会を創出します。

雇用条件等

雇用までの流れ	1. 電話及びネットで応募 2. 面接日時の設定 3. 面接（雇用条件・作業内容説明・適正確認等） 4. 可否通知
給与	時給800円～ ※作業内容により変わります。詳しくはお問い合わせをお願いします。 支払いは現金日払いとなります。
勤務時間	相談に応じます。
勤務日・休日	1日だけでも良いです。 ライフスタイルに合わせた勤務日・休暇の設定。相談に応じます。
作業場所	大分県内各地。 作業場所まで送迎車あり。
経験・資格	経験・資格の有無は問いません。

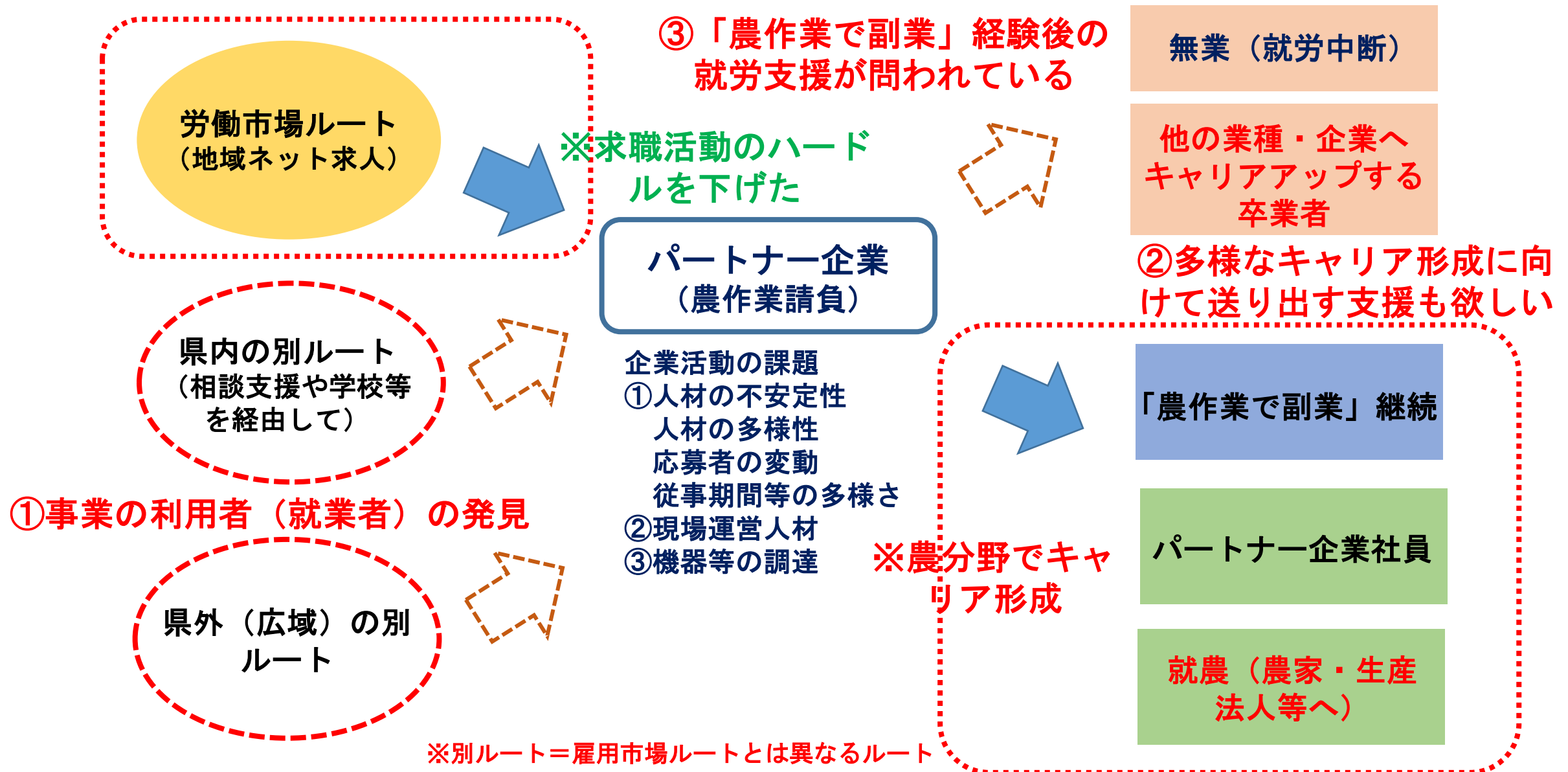
2-2 大分モデル（労働力支援事業）で注目すること

大分の労働力支援事業「**農作業で副業**」は、**農作業の切り出しと分類**によって、従事のハードルを下げ、副業という就労チャンス（現金日払い、日数等の調整可能、送迎付き等）を提供した。この就労チャンスの利用者は、「**就労支援**」が支援対象と考える**求職準備者やキャリア模索者**であった。

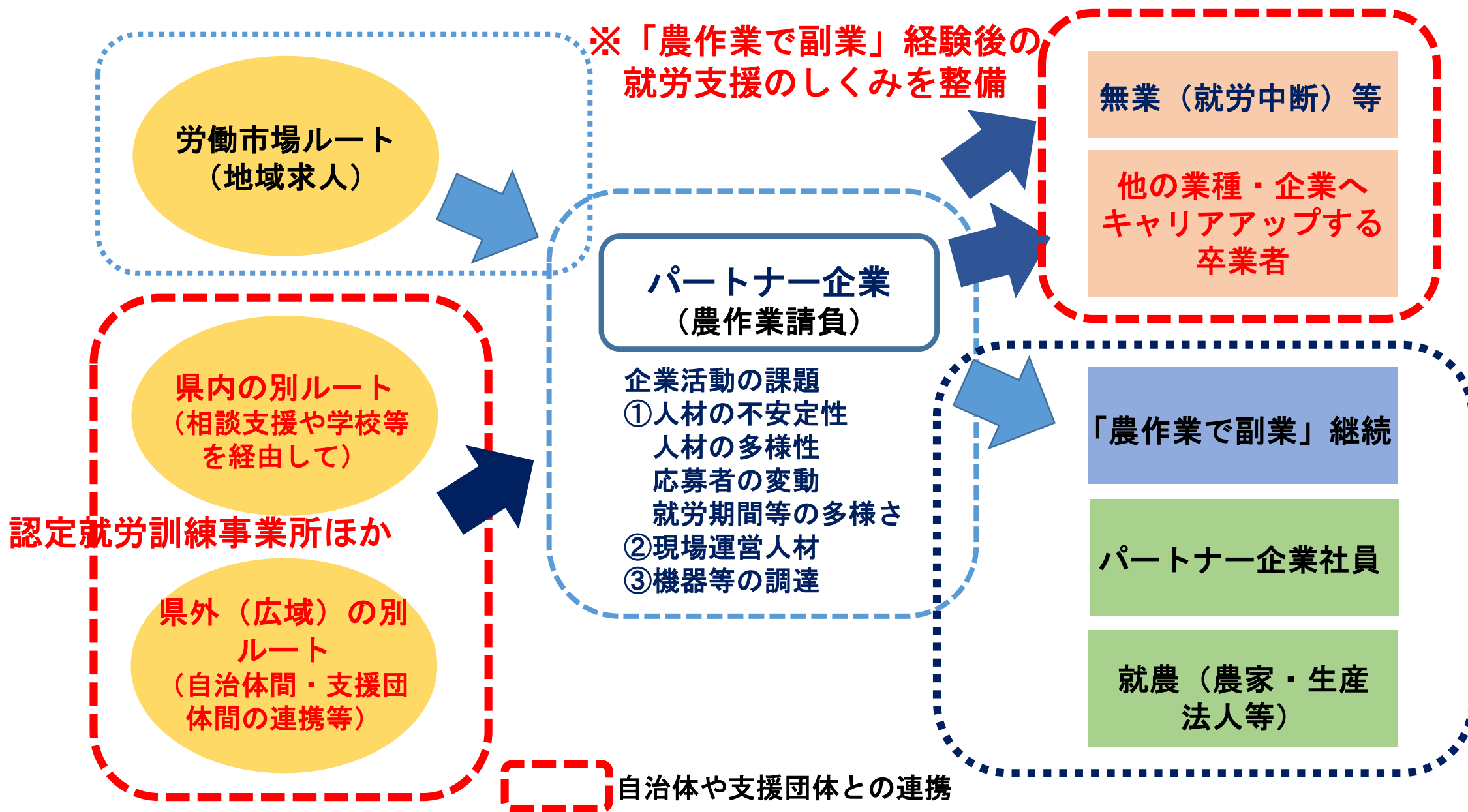


2-3 大分モデルにおける多様な人材への対応

新ルートと現場の運営力



2-4 大分モデルの今後 別ルートへの拡充、現場運営の改善と就労支援との連携



企業との関係づくり④ その他の注目する取組み

◆埼玉県障害者雇用総合サポートセンター

企業支援部門(委託:NPO法人サンライズ)

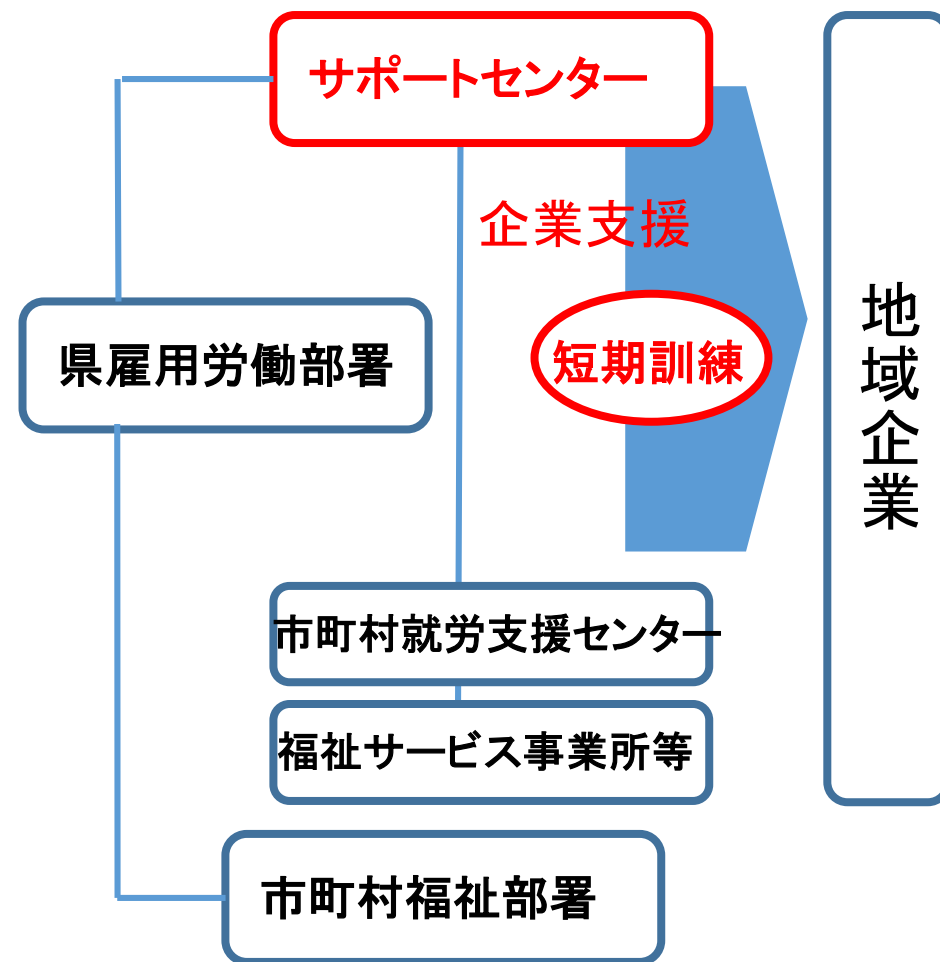
定着支援部門(委託:NPO法人)

企業開拓部門(直営:県産業労働部雇用労働課 障害者・若年者支援担当)

企業支援部門(スタッフ25人)

- ①企業への支援: **短期訓練の組成**、「ヘルプデスク」、**出前講座**(障がい理解や共に働くための環境整備、メンタルヘルス等)ほか
- ②就労のコーディネート:市町村就労支援センター等と連携した就労支援
- ③企業ネットワークの構築と運営:企業向け企業見学会、セミナーほか
- ④相談(企業向け、支援機関向け)

企業が「共に働く」ための体験、訓練をする



◆NPO法人わかもの就労ネットワーク

東京中小企業家同友会有志企業と若者等支援団体が共同で設立。
就労体験等の段階から若者を受入れ、企業ネットワークで支える